大正四年一月二十日發行

婦人衛生雜誌

第三百二號

婦人衛生雜誌

第三百二號目次

講演

○獨逸國に於ける婦人の社會事業　ドクトル　三田谷啓

叢談

○吾々は何の爲に食事をなすか　農學博士　澤村眞

○妊娠性精神病といふこと　醫學士　下田光造

○乳房の疾患に就て(承前)　醫學士　鈴木平十郎

育兒

○小兒結核の豫防

○鵞口瘡

○變つた子供の身體

家庭衛生

○素化粧法

○雞卵の貯藏法

雜報

○未成年者飲酒禁止法案

○乳兒死亡豫防の新案

○日本トラホーム豫防協會

○亞米利加の結婚制度

○少年軍入隊式

廣告

○婦人衛生會入會及轉居

私立大日本婦人衞生會

例會通知

來る一月二十三日(第四土曜日)午後一時より神田區一ッ橋通女子職業學校内に於て初例會を開き候間、御知友(婦人に限る)御誘引御來會被下度候

○餘興として細川風谷の講談有之候

○先月の通知に二十二日とあるは二十三日の誤に付き左樣御承知被下度候

二月の例會は休會致候事

大正四年一月

私立大日本婦人衞生會

私立 大日本婦人衛生會

設立趣意書

凡そ人として此世にありては徒に生けるのみをもて足れりとするにはあらずかならずや智識を磨き人たるの本分を盡くし幸福快樂のうちに一年を送らんと皆ともに希はざるはあらじされども其身健康にあらざれば此生活を得んをいと易からずこれ衛生の道の一日も忽にすべからざる所以なりとす

抑も〳〵衛生の法は一にして足らずといへども衣食住の改善育兒及看病法等の如きはいと緊要の事にして皆吾等婦人のもつぱら掌るべき所其責任重しと云ふべし今や婦人の會合相尋て起り婦人社會も漸く其の面目を改めんとするは眞に喜ばしきことなりされども夫の衛生の事に至りては更に注意を惹かざるものゝ如くまことに口惜しきことなり因て頃日同志婦人集ひ謀り一會を設け名けて私立大日本婦人衛生會といひ毎月一回集會を開き學識經驗ある人々に衛生上諸般の談話演説を乞ひ互に相研究し尚之を筆記して册子を編輯し會員に分ち聊か同胞の爲めに盡すあらんとす茲に本會旨趣の梗概を敍べて廣く江湖の諸愛姉に告げ其賛成を仰ふぐことしかり

明治二十年十一月

首唱者總代

私立 大日本婦人衛生會規則摘要

（明治卅二年十二月改正）

第一條　目的　本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

●第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く

●第三條　本會會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得

●第四條　入會の節には姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込まるべし入會者には會員章を交付す（交付手續卷末に詳なり）入會後轉居等あるときは速に其旨事務所に報知せらるべし

●第五條　會員を分ちて終身、特別及通常の三種とす、終身會員は一時に金廿五圓以上特別會員は一ヶ月金三拾錢以上、通常會員は一ヶ月金拾五錢を納むる者とす

●第六條　男子にして本會の旨趣を賛成する者は之を賛成員とす其會費は本會員に同じ但本會に功勞ある者又は本會に於て特に賛成員たることを望みたる節は役員の協議に依り無會費とすることあるべし

●第七條　會員は本會に於て毎月發刊する雜誌を無料にて受ることを得

●第八條　退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は親戚知友より通知せらるべし但既納の會費は總て返戻せず

●第九條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の妃殿下に願出るものとす

●第十條　本會に左の役員を置く　會長一名、副會長一名、幹事七名、評議員三十名、書記若干名

●第十一條　會長副會長幹事評議員は隔年三月の總會に於て會員の投票を以て之を選擧し書記は幹事の推薦に依り會長之を命ず但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし

●第十二條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄雜務を掌る幹事の分課を設け第一會計、第二編輯出版、第三庶務とす

●第十三條　臨時指名委員の作

●第十四條、會長副會長幹事評議員の任期は二ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺員を生ずるときは次點者を以て補缺す

●第十五條　會長副會長幹事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す

●第十六條　集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるべし又春秋二回會員相互親睦の爲め園遊會を開くことあるべし

●第十七條　毎會學識經驗ある人々に衛生上の講義演說談話を囑托し會員をして適意諮詢せしむるものとす

●第十八條　會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會々場に誘致し講義演說等を傍聽せしむることを得（但衣服は總て質素たるべき事）

●第十九條　講義演說等は男子の傍聽を禁ず

●第二十條　規則の改正其他重要の件議定のこと

●第廿一條　毎年三月總會に於て會計の收支決算竝に庶務の概要會員の增減等を報告すべし

●第廿二條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

●第廿三條　會計の收支は總て會計擔任の幹事檢印を要するものとす

●第廿四條　會計は一ヶ年毎に決算し翌年三月總會に報告すべし

支會

●第廿五條　地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得

●第廿六條　本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載して申出べし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報告すべし本會會員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす

●第廿七條　支會には支會限りの會員を置くことを得

●第廿八條　本會の雜誌は支會に回送すべきを以て其實費を支會より本會に送付すべし支會限りの會員にして雜誌を請求する者は就きても亦同じ

●第廿九條　支會は集會の都度其狀況を本會に報告すべし

◎雜件

●第三十條　本會は毎月一回雜誌を發刊し之を會員に配附すべし

●第卅一條　會員又は會員外の者にして金圓若くば寄贈物品等を本會に寄贈する者ある時は本會々長の名を以て謝狀を贈り寄附者の姓名及品目を簿冊に登錄し尙本會雜誌を以て報告すべし

●第卅二條　會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に送信料を添へらるべし（郵券送一割增）

●第卅三條　會費は東京府下に限り毎月領收人を差出すべし地方會員は總て前金とし振替にて口座番號東京一〇六〇〇番本會事務所宛に振出しあるべし

●第卅四條　會員中若し本會の障碍となるべき所爲ある者又は屢く會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議會の決議を經て除名し若しくは廣告することあるべし

東京市麴町區富士見町二丁目卅二番地　私立大日本婦人衛生會

講演

獨逸國に於ける婦人の社會事業

ドクトル　三田谷啓

今日は皆樣方の前で獨逸の婦人が社會的に凡そどう云ふ事を致して居るかと云ふことのお話をする機會を得ましてまことに光榮と存じます。

獨逸の社會事業と云ふものは近來段々に餘計になつて參りまして、女が社會的に仕事を致すと云ふ事も今日では仲々進んで參りました、種々の目的で立てられて居るところの獨逸の婦人會は非常に澤山で中百や二百やそこらではなく千も二千も在ると云ふ風でありますから、之を一々皆さんにお話すると云ふことは、迚も一回や二回では出來ませぬ。又是は獨り獨逸だけではない、獨逸以外に英國或は佛蘭西或は露西亞其他墺太利にも同じ樣な婦人の會があります。それで是等の會の事を研究するのは中々面白い事ではありますけれども、斯う云ふ事は僅かな時間では到底出來ませぬから、私は今日皆樣の前で極めて簡單に獨逸婦人の社會事業に就てお話を致して見やうと思ひます。

獨逸の婦人が社會の仕事を創め出しましたのは餘り舊いことではありませぬ。西曆千八百六十五年今から凡そ五十年前に始めて獨逸婦人會がライプチヒで設立されました。其後に伯林に國會が開かれることになるので、矢張り女の人も成たけ大きな仕事を爲るには國會が開かれるやうな獨逸の首府で仕事をしなければならぬ、其處に根本を作つて置かなければならぬと云ふことで、千八百八十八年に伯林で「フラ

ウエンヴール」と云ふ會が出來たのですが、此會に非常に盡力した婦人はカウエルと云ふ人で、此人は初めライプチヒに出來た會と、後に又伯林に出來た會との二大會に非常に盡力致して居られました。それから段々それに似寄つたやうな會が、彼方此方に出來て新らしい事業を爲るやうになつて來たのであります。

今申上げたライプチヒの會の方で其會員のランゲ孃と言ふ方が大に力を盡しました。この人は重に教育の方で盡力したのです。其中進歩派の人々は社會事業、外交などゝ申すことを大に主張致しカウエル夫人もこの方面に大に働いたのであります。

今申上げたカウエルと云ふ婦人は中々豪らい婦人でさう云ふ方面に澤山の婦人を連れて、自分が總大將になりまして力を盡されたのであります。それから後に斯う云ふ會からいろ／＼な種類が分れまして、さうしてもう婦人會と云ふものは彼方にも出來、此方にも出來ると云ふ風になつて非常に數が澤山になつて參りました。それから其次の年即ち千八百八十九年に大きな婦人會が出來ました。この婦人會は、婦人の職業を有して居る人々の爲めに出來たのであります。それは獨逸では女の人が自分が外へ出て仕事を爲るとか、或は工場に行つて仕事をしたり、或は商店に行つて仕事を爲るとか云ふやうに、大變に働くのでありますから、さう云ふ人のために矢張り保護をしなければならないと云ふところから、右の會が出來たのであります。此會にも初めに申上げましたカウエル夫人などが何時も主になつて行つて居られましてユーリウス、マイヤ或はジルベルスタインと云ふやうな有力な人も此會の爲めに盡力致したのであります、是は固より婦人に屬する會でありますから男の人は少しも關係は無いのであります。此頃英國では選擧運動と云ふ事が盛んに行はれて居りますが、獨逸で初めて婦人の權利を言ひ出したのは、何人であるかと云ふとリリ、フォン、ギイツキと云ふ人でありますが、此人が初めて公に女に權利

を與へよとか、或は女も議員の選擧權を得なければならぬとか云ふやうな事を主張しまして、それから婦人選擧運動の會が出來たのであります。此時にも矢張りカウエル婦人だとか其外ドクトルアウグスブルヒ、ハイマン孃、ドクトルシルマツヘルとか云ふやうな人達が力を盡して會を作つて、其他にも段段大きな會が出來ました。其他又宗教上の關係から宗教の種類によつていろ／＼の會が出來て居ります例之ば基督教にしても、新教とか舊教とか云ふ風に宗教の種類に由つて婦人の會も分れて居りました。ところが此頃になつて、凡そ今より二十年前――非常に都合が好い企が出來ました。それは何人であるかと申しますと斯んなに數ある婦人會の中で、思ひ思ひに仕事を致して居つては、どうも具合が惡るいから、一つそ今までの婦人會と云ふものを統一にして仕事をして行くと云ふことであれば、是は其方が餘程都合が宜からうと云ふことになり、こゝに獨逸婦人會同盟と言ふものが成立致しました、丁度これは千八百九十四年のことであります。これはどう云ふ風になつて居るかと申しまするど、目的を異にして居る種々雜多の會でも同盟してそして互に聯絡を保つて居れば非常に都合がよろしい。例へば學校にしても、何々女學校とか云ふ風に澤山の學校が在るのを、今の文部省が一つにして支配するのと同じ樣な譯である。現に獨逸に存在して居る婦人會は凡そ二千四百程もある、此多數の婦人會が、同盟致したのであります。其同盟に屬して居る女の會員は、凡そ何の位有るかと云ふと、今日一番近い統計で五十萬人を數へるのであります。それで私は凡そ此婦人同盟と云ふものが、今日どう云ふやうな事を爲て居るかと云ふ事をお話すれば大概の事がお解りになることゝ思ひます。今申しました通り一々の會に就てお話すると云ふことは、迚も短時間では出來ませぬ同盟の方で何う云ふやうに行つて居るかと云ふことだけを簡單にお話致して見やうと思ひます。此同盟の目的はざつと申すと斯うです。種々の婦人

會を集めて、さうして或は經濟の事だの或は法律の事だの婦人の精神、婦人の身體に關係の有る事だの或は婦人が要求すべき問題だとか或は慈善事業だとか、斯う云ふやうな事を一緒にして統一の出來るやうにして其目的を達して行かうとして居り、側ら婦人運動の主義と云ふものを世の中の人に知らせるやうにするのが目的であります。之を細かく申しますと例へば種々の目的で立てられて居る會の會員が相集り、お互に心安くなつて、知識を交換するとか或は婦人會の事業を擴張して行くとか、或は研究すべき婦人の問題が起つて來ると、それを研究するとか斯う云ふやうな事などもし、又一方では大勢集つて婦人が種々の問題を研究して世の中の人に充分解るやうに輿論を惹起すとか云ふやうな事に努めて居るのであります。

そこで今日それに屬して居る會員と云ふ者は右申上げたやうに五十萬もあります。五十萬も會員があれば、それは中々大きな仕事であります。この同盟會には七人の幹事が居ります。其の中から會長が一人選ばれ、副會長が二名、庶務が三名、會計が一人と云ふ風に選び出されるので、中々大仕懸である。總會は二年目に一回宛開かれるのであります。そこで其總會ではどう云ふやうな事を致して居るかと申しますると會計の報告、幹事の改選、豫算の報告、庶務の報告、或は會則を變更するとか、或はいろいろの問題を討議するのでありまして、其時には獨逸全國から婦人がやつて來て、總會に列るのであります、凡そ何か大きな仕事をしやうと云ふには、どうしても一方に集會と云ふものを行はなければならぬが、總會はたつた二年目に一度しか行はれないのでありますから其間に各會員と連絡がついて居らねばならぬ。この目的に種々の雜誌が出て居るのであります。例へば今幹事の手下から出版致して居る獨逸婦人會同盟中央雜誌の如き、或は地方の會員の爲めに特別の雜誌が發行されます。東京の會員だとか或は大阪の會員だとか云ふやうに、澤山の會員を有し

て居る地方會員の爲めに發行される。斯かる雜誌は四つも五つもあります。雜誌の名は略して置きませう。右申した雜誌の外に此婦人同盟會は一つの婦人職業館とでも名づくべきものを有して居ります。それは何處にあるかと云ふと、伯林に在りまして、其處の館長は女の人でヨゼフィ子、レウィー、ラーテナウと云ふ人であります。この館長の外に館長を扶けて仕事を致して居る婦人があります。例へばドクトルビーベルだとか、ドクトルマリー、ベルナイス、ドクトルリーゼ、ヘルマンと云ふ人の外に女の法律學生でマイエルと云ふ人なども居ります。其婦人授職監と云ふものはどう云ふやうな事を致して居るかと云ふて、其處に澤山の仕事をする材料を集めて、其處に仕事を爲る女の人が來ると、仕事を授けてやるとか、或は其處で澤山の材料を地方の婦人會に送つて仕事をさせるとか云ふ風で此授職館と云ふものは中々大仕懸なものであります。其處でも特に雜誌を發行して一つは會員の希望を知らせるとか其他世の中の婦人が行つて居る仕事を紹介するとか云ふやうな目的で行つて居るのであります。

今申上げましたのは此同盟の大略なことでありますが、一體全體二千にも三千にも近かい婦人會がどう云ふやうにして仕事を爲るかと思つていろ〳〵の目的を考へて見ますと、それは實に千態萬状で、一寸例へて見ると婦人會の人でどんな問題でも女に關係の有る問題は悉く研究をすると云ふやう廣い目的を有して居るものからもつと目的を小さく範圍を狹くして行つて居るものが多くあります。例へば女の敎師の會だとか、或は女の新聞記者雜誌記者の會だとか女子の役人の會だとか婦人音樂會だとか、或は看護婦の會だとか、產婆の會だとか、其外禁酒の會だとか又若かい娘さん達を善く導く爲に作られた婦人會だとか、或は婦人の衣服の會だとか婦人の文明に關係有る會だとか、或は右申上げたやうな選擧運動の會だとか、或は婦人の商賣人の會さだか、人種改良の會だとか云ふやうなものがありまして種々の目

的に依つて細かく分れた結果、會の種類と云ふものは誠に澤山出來て居るのであります。

此獨逸の婦人は、何う云ふやうにして働いて居るかと云ふことを考へて見ますると、それは今申上げたやうに一般に婦人に關係ある問題は何んでもかでも研究すると云ふ、斯う云ふ組合の會から分れて來て例へば婦人の職業――獨逸のやうに生活が困難になつて來ると、女の人は殆んど皆が皆と云ふ程までに仕事を爲なければならぬ、自分が生活するには兎に角自分が賄はなければならないと云ふやうな有樣になつて居るので、男でも女でも小學校を卒業すると直ぐ職業の方面に進んで行かなければなりませぬ。で彼處では澤山の女の人が商賣を致して居りますが恰度三越のやうに、物を賣つたりするやうな仕事は殆んど女の人が行つて居ります。又速記の稽古なども、獨逸では今日容易く出來ますから、速記學校を卒業したり或は簿記だとか「タイプライター」の稽古だとか云ふやうなものも一年も費れば行つて仕舞ふ。それでありますから女の人は先づ第一番にさう云ふ準備をしなければならない、商店で仕事を爲る準備をしなければなりませぬから、學校を出ると「タイプライター」だとか或は速記學校などに行つたり、其外簿記を行るとか云ふやうにして一生懸命に職業の準備を爲るのであります。其間は無論給料も貰うと云ふ譯には行きませぬから、成るべく早く學校を卒業して成るべく澤山の金の利かる所に行かうとするのであります、即ち女の人が澤山良い仕事を得たいと云ふのでありますが、それも中々むつかしいことです。時間を短く働いてさうして金を澤山貰らうと云ふのでありますから、非常に困難であります、けれどもさう云うやうにして爲なければ生活して行けませぬから、一生懸命に婦人會の方でもさう云ふ人の便利を圖る爲めにいろ／＼力を盡して行つて居る。其外いろ／＼の仕事を拵へて娘さん逹に渡すとか、或は職業を得たいと云ふ娘さんに相談をして、斯う云ふ事を行つたら宜からうといろ／＼世話をして居

る。此外慈善或は子供の世話をする事、或は既に學校を出た娘さん達を世話するとか、言ふ風にいろいろやつて居るのであります。

私がハムブルヒに參りまして慈善事業に就て調べたことがありました、そして種々と興味あることを發見致しました。其一つ二つを話して見ませう。獨逸人は子供が產れても自分の乳を子供に行ると云ふことを好まない。それは行る人もありますけれども誠に少くない、大抵は牛乳で育てゝ仕舞ふと云ふ風であります、此牛乳で育てると云ふことは牛の子なら牛の乳も宜いかも知れませぬが、人間の子供に牛乳を飲ますと云ふことは是は考へ物で人間の子供は矢張り人間の乳が一番良いのであります。近年獨逸では子供の死ぬる數を成たけ少くしやうと思つて、さうして子供を產んだ阿母さんの處に行つて　其人が自分の乳を子供に行るやうにいろ〳〵說きつけるのであります、例へば或婦人が阿母さんになる前――先づ近い中に阿母さんになるやうな時分に、　其人の家に婦人會の會員が訪ねて行つて、いろ〳〵注意を爲る、貴方若しお子さんが生れたら其時に御自分の乳を行るか何うかと言つて聞く、すると向ふの人が私は乳は遣りませぬ、牛乳にしませうと云ふやうなことを言ふと、さう云ふ場合にいろ〳〵其婦人に言つて聞かして若し病氣でない以上は、貴方の乳をお子さんに上げるのが一番良いと云ふやうなことを言つて呉れる。又子供が產れてから其家に行つて其母親がどうしても自分の乳で育てることが出來ないと云ふやうなことがあると、それでは乳母を寄こしませうと云つたやうにして、成るだけ人間の子供には、人間の乳を飲ませるやうに婦人會の人達が勸めて居る、其外どうしても子供に自分の乳を遣ることが出來ないと云ふ場合は澤山にありますが、中流以下の人は自分が働いて居るから、自分の子供に乳を遣つて居るやうなことは出來ない、それで子供を預つて呉れる處へ子供を預けて置いて、さうして自分が仕事をしに行きます。そして仕事から歸つて來る

と自分の預けて置いた所へ子供を貰ひに行くと云ふやうに致して居る者は澤山にあります。其外經濟の事だの、或は法律の事だの、教育の事だの、或は技藝の事だの、さう云ふやうな方面で婦人會が力を致して居るのであります。例へば禁酒會の如きこれであります。獨逸人は「ビール」を大變に飲みます。何處に行つてもあんなに酒を飲む所はあるまいと思はれる位に澤山飲む。「ビール」を全然で水のやうに飲む。男の人でも女の人でも、平氣の平左衞門で「ビール」を飲んで居る。さう云ふ風に「ビール」を飲む結果いろ〳〵惡るいことが出來て來ますし、金を使ふのは言ふまでもなく、「ビール」を澤山に飲んだ爲に子供の出來が惡るいとか、精神病者が出來たとか、さう云ふ惡るい例は澤山あるのである。そこで斯う云ふ時に女の人が一つ禁酒會を起してそんなに「ビール」を飲まないやうに、女の人は申すまでもなく、男の人にも「ビール」を飲ませないやうにした。私が恰度獨逸に居つた時に禁酒會の講習がありましたが、其時にも澤山の聽講生が行つて、さうして講義を聽いて居つた。私は是は面白い事と思つて其講義を聽く方の一人となりまして講義を聽いたのであります。それで此講義を聽いて居つた中には凡そ二百人程の人間が居つて、其中で百人以上即ち半分以上は矢張り女の人が來て「アルコホル」に關係の有る講義を聽いて居りました。斯う云ふ事は餘程女の人が力を盡して行らなければならぬ。私はこのときに深く感じました、それから一體どう云ふ風にして婦人會が仕事を致して居るかと言ふに第一は集會であります。其集會にも種々あります。或時は會員だけ集る會を開く、或時は公開の大演說會を開くと言ふ風にやるのです。其外書物や雜誌を出します。其中には中々立派な者が少なからずあります。其外陳列場と云ふやうな者が出來て居つて、婦人會で拵へた品物を陳列して賣るとか或は縱覽させるとか言ふ風に致て居ります。それから又圖書館が出來て居ります。始終働いて居つて時間の無い人が例へば夜分店から歸つて後

にやつて來てこゝで書物を讀むのであります、獨逸人は一體に國民教育と云ふことに餘程興味を置いて居つて、小さな街で、凡そ三萬か五萬位の人が住んで居るやうな所でも矢張り圖書館だとか或は博物館だとか云ふやうなものが出來て居ります。是は餘程國民教育の上に喜ばしい影響を及ぼすものであります。例へばハムブルヒと云ふやうな大きな街に行きますと、圖書館や博物館は澤山出來て居る、それで日本の博物館などでは大抵「此物に手を觸るべからず」と書いてありますけれども、獨逸の博物館では「此物に手を觸るべし」としてある、例へば茲に面白い器械があつて其器械を見たいと思ふと。それを手にして廻はして見られるので私も手を觸れて廻はして見ましたが、電氣の機械などもちやんと動かして見ることが出來ると云ふやうに、何んでもさうなつて居ります。それからさう云ふ所に行くと新らしい事でも新らしい事でなくても秩序を逐うて一つ研究して見たいと云ふ場合には、模型が出來て居りますから、それを見ると、初めは斯うであつたのが、後には斯うなつたと云ふやうな事が解る、昔一番先きの人が考へた時から段々考へて來て、今日のやうになつたと云ふ事が其處に行くとちやんと解るやうに拵へてあります。此頃喧ましく言はれる飛行機のやうな物でも一等昔から人間が考へ出した物は斯うであつたと言ふ風にちやんと年代を追つて模型が竝べてありますから段々進歩して來た其すじ道がよくわかるのであります。だからそんなに多くの學問をせずとも、又多くの書物を讀まずとも博物館などに行つてさう云ふ物を觀ると、却て能く解るやうになつて居ります。それは單に飛行機ばかりではなく其外何んでも皆さう云ふやうに出來て居ります。

さう云ふ風に獨逸の國民と云ふ者は國民教育と云ふ事に重きを措いて居る結果、矢張り女の仕事もそれに似寄つて居りまして、圖書館を作つたり或は陳列場を作つたりすると云ふやうになつて居ります。講習會と云ふやうなものも始終行はれて居つて、そこ

で女の人は勉強して居るとか初めに申上げた授職館のやうなものが出來て居て、そこで婦人のために職業を授けるとか、實に種々の方面で仕事を致して居るのであります。

斯くの如くにして、私は極めて簡單に、極めて雜駁にお話を致して參りましたが、一體世の中が段々複雜になつて來る結果、人間の爲る用事が非常に澤山にいろ〳〵分れて來ました。さうして人間の生活が段々困難になつて來る、職業を得ることが困難になつて來る、斯う云ふやうになつて來れば其中で困る人があると云ふことは、どうしても免れないことであります。從つて職業を失ふて生活に困るやうな人も出來る。そこで何處の國に行つても慈善事業と云ふものが出來て參りました。一體女の人が慈善事業に手を出すと云ふことは非常に都合の好いことで、男が男の方だけで、何んなに汗水がいてやつたところが、女の人が助けて下さらないと何うも巧く行かない。御婦人の細やかな愛情と云ふものを有つて、さうして斯う云ふ慈善事業に盡して下さると云ふことであれば、是は慈善事業の進歩して行く上に於て大變に都合が好い。例へば病人を看護する、是なども獨逸では篤志看護婦會と云ふやうなものがありまして、其處に居る會員は、一定の期間講習を致して病人を看護することを稽古致します。何んにも報酬を貰はずして、病人の世話を致すのであります。

斯くの如く婦人は諸種の方面に於て、殊に慈善の方面で力を盡して居るのであります。今日のやうに職業が盛んになつて來れば婦人が仕事を求めて生活すると申すことは容易のわざではありませぬ。これはひとり獨逸ばかりではない、英國に行つても或は佛蘭西に行つても女の職業と云ふものが中々廣くなつて複雜になつて參り、經濟の點だけでも苦勞して行かなければならぬのであります。日本のやうに女の數が男の數より少ないのは大變都合が好いのでありますが、獨逸は男の數より女の數の方が餘程多い、それだから此多勢の女の人は職業を求めなければな

らぬと云ふのですから、どうしても女が男の領分に行つて仕事を取つて來なければ迚もいけない。それで此頃では監獄に女の人が行つて、さうして其處の長になるとか、或は女の看守になつたり、或は電車の運轉手になるとか云ふやうな風に女の人がさう云ふ方面の仕事をしなければならぬやうになつて仕舞つたのであります。

そこで女の行つて居る仕事を十分に助けて行く爲に或はもつと良い仕事を拵へる爲に、矢張り婦人會と云ふものが力を盡してやつて居るので、斯う云ふやうに澤山會を拵へて獨逸の婦人がいろ／＼働いて居ります。其中で吾々が感心する事はどんな事かと云ふ、獨逸人は一體物を組織するのが上手でありまして、一寸例へて見ると何んでも原因を知らなければ止まぬと言ふ性質があります。この性質はちやんと子供にも備つて居て、何故だ々々々と子供が尋ねます。二と二とは合せて四となる。これは明であるが、これでも獨逸人は何故だと言ひたがるのです。そしてこれを代數學や幾何學的に證明せんとするのです。例へば斯うです。一と一と合せれば二になるから、その二と二と加へれば四ッになる。是は決して間違がない動かすことの出來ない眞理だと云ふ。こゝまで來なければ承知を致さぬのであります。これはほんの例でありますが、斯う云ふ風に獨逸の子供は何故と云ふ事を始終言ふために何を見ても何故／＼と始終言ふ、さう云ふ風であるから子供でも能く其理屈が解るから今度ちやんと答へることが出來る。獨逸の十二位の子供が日本人に向つて一體日本人と云ふ者は大變熱い湯に入ると云ふことであるが、何うしてそんなに熱い湯に入るのだらう、一體其湯の溫度は攝氏何度ですかなどと問を發する。日本人は一寸頭をかき乍らさあそうですネ幾度位になりますかなあと言つたやうな風で實際幾度だか知らないで居る人が多い。お醫者さんならまあ大抵知つて居りますが、イヤお醫者さんでも呑氣な人は知らずに居る方もあるかも知れない。其外冬は何

の位の寒さだとか言つて尋ねられる。獨逸より日本の方が寒いと云ふことだが日本にも雪が降るかとか、一體日本の冬の平均溫度は攝氏の幾度位だとか又日本の夏は餘程暑いと云ふことだが攝氏の幾度位ですかとかと斯う來る。さうすると日本人も迂つかりして居ると子供に行り込められる。さう云ふやうに獨逸の子供の頭腦と云ふものは違つて居る、何んでも獨逸人は根本を知らなければ得心しない、何事でも何故〇〇〇〇さうですかと云ふことを知つて居るから、それだからして何事をしやうと云ふにも其處から築上げて、此處は斯うでなければいけないと云ふ理屈……公式をちやんと知つて行るから何んでもちやんと作上げることが出來るのであります。

それでありますから矢張り婦人會の仕組と云ふやうなものも組織が確實に出來て居つて、さうして行り方も上手で、段々と擴げて行くと云ふ風でありますから、婦人の會などに行つて見ても中々分擔の如きことが能く出來て居る。私は婦人ではありませぬけれども獨逸に居ました時に或婦人會に行きまして、實は私は日本人でございますが、婦人會の模樣を拜見致したいと思つて出席致しましたと申しましたところが、それは能く御出で下さいました、何うぞ見て下さいましと云ふことで席を貰ひまして、さうして此婦人會の行ることを見て居ると、恰度婦人會の總會の準備の爲めに婦人が種々な事を行つて居つて例へば愈々來る何日當地に於て婦人會の總會を開かれるにより、地方から澤山の會員がやつて來る。凡その何の位やつて來るか分りませぬが、是等の人を皆旅館に泊めると云ふことは、大變不經濟であるから會員の方の家にお客さんを泊めて戴きたいと會長が言ひますと、へー私は三つ、私は四つ、私はたつた一つありますと云ふ風に皆寢牀の數を言つて與れる。それですから餘計は出來なくても一寸二百位は直ぐに出來ます。それから又書記が三人ばかり要る誰かなつて貰らいたいと云ふと、私が行りませうと云ふ、會計が要ると云ふと、へー私が行りませうと

言つて婦人の中から名乘り出るものがある。さう云ふ風であるから、どん〳〵出來で仕舞ふ。若し萬一適當の人が無いと見た場合には、會長がお前さん何卒此役に當つて下さいと云ふと、よろしい一つやつて見ませうと云ふ風であるから、準備が三分か五分位の間に出來て仕舞ふ、總て何事でも斯う云ふやうに迅速に行つて居るのであります。

それで此婦人會では度々演說がございまして五百人も千人もと云ふやうな大勢の男女を集めて、女の人が盛んに演說を致し大に氣焰を擧げると言ふ風で小さな街でも矢張り女の人が演說を爲るのに呼ばれて行きまして、中々烈しい講演などを行つて居ります。どんな小さな會でも盛んに行つて行かうと云ふのには尠からぬ苦心を要するものでそう容易な仕事ではありませぬから況して大きな會なぞを盛んに行つて行かうと云ふのには一方ならぬ苦心を要します、これは既に皆樣のうちで御經驗の方もありませう。小さな會でさへもうまく行かぬことが往々あります、それに會員が多勢集まると議論が區々になつて、纏れが出來て巧く行きにくいものです。少し活潑な會員の方や幹事などがあつて著々と行ると、やあ出しや張りだとか言はれるし、又それかと言つて始終引込んで居つては會が發展しないと云ふことになります。それ故誰か有力な人が出て之を統一してやつて行かなければならないと言ふことになります。どうしても一つの事を興さうと云ふ場合には劇烈なる奮鬪もし、餘程の辛抱もしなければ事業は發達して參りませぬ。又さう云ふ風にして辛抱してやつて居つても圖らず途中で種々な障碍が現はれて來ますから。其障碍にぶッつかつてさうして其儘にして置くと會は潰れて仕舞ふのであります。獨逸人はひとり婦人會のみならず種々の會では、半ケ年位チヤンと「プログラム」を拵て置きこれを書物のやうに致して會員が携へて居ります。例へば何月何日には某と言ふ人が何と云ふ演題で話を致す、何日には運動會、何日には音樂會、何日には相談會と言つた風

にチャンと定めてあります。其外にまた雜誌が出ます。此雜誌の中には例へば大正三年に發行された年報であれば大正二年の事柄がのせてある。又先程申しました獨逸婦人同盟會から出版される年報には、詳しいことが書いてあります。是は却々便利な場合が澤山あります、日本などでもいろ〳〵女のお方のお立てになつて會が大分ありますが、それを一緒にして同盟して行つてやれば大變效果も多いことゝ存じます。

それから私はもう餘り長くは申上げませぬが、吾吾日本人が必要だと思ふことは此社會をもつと良いものにすると云ふことであります。それには女の方がどん〳〵力を貸して下されば必ず巧く行くので、どうしても斯う云ふ事は男だけの力では巧く行きませぬ。男の人が右の手になれば女の人は左の手になつて、兩手で仕事をしなければ世の中のことは巧く行きませぬ。どうも片手ではうまく參りませぬ。片足では都合が惡いのです。

それから近來獨逸の婦人が大層長生することになりました。今日では總計の結果婦人の平均壽命は五十五歲となつて居ります。これは獨逸の婦人が强ち平素遊んで美味い物を食つて居るからだと言ふのではない。前にも申した通り此頃では社會の狀態から女子の人でも隨分忙しい仕事も澤山あるし、職業も十分あるから大變に生活も苦しくなつて居るのであります、さう云ふ風に働き方がはげしくなつたにも拘はらず皆が平氣で仕事をして居ると云ふのは何う云ふ譯であるかと之を能く考へて見ますと、其原因は澤山ある。日本なぞでは日曜も樂しく休まれない、一部分だけは多少休めても、大部分は休むことが出來ないと云ふ有樣であります。平常は朝から晩まで仕事をして日曜にも休むことが出來ませぬ、商店ならでは朝から晩まで店で働いて居りますから、十時或は十時過にもなると店の小僧はこつくり〳〵やつて居眠をして居る、と云ふ風でありますが。さう云ふ事は獨逸人は中々行屆いて居ります、獨逸人は商店

から八時に歸りましてそれから英語或は速記或はいろ〳〵自分の好きな者の稽古をすると云ふ風であります。斯う云ふ風であるから使はれて居る人も休む事も出來るが、日本の商店なぞでは日曜でも休みが無い位であるから、それを無理に行ると身體に惡るいと云ふ事は是は勿論誰れでも議論の無い事であります。私共は獨逸に行つて居つて見ましても獨逸の女の人は能く肥つて確つかりして姿勢も誠に正しいのでありますが夫等は此體育の研究が發達して體を第一に強くしなければならぬと云ふことが一般に心掛けられて居るからで、例へば獨逸の婦人は游泳なども中々やります、游泳の稽古は日本のやうに夏ばかりではない。隨分外へ出ると耳を斷られるやうに寒くなつても泳の稽古を盛んに行つて居ると云ふ風であつて、斯う云ふやうに寒い時でも堪へて游泳をすると、後で全身がほく〳〵して却て元氣好く仕事が能く出來ると言つて居る。そんな事は小學校の女の子でもどん〳〵行つて居る、夏でも冬でも一生懸命で泳いで居ると云ふ風であります、此泳ぐと云ふことは體の爲めには大變良いことでありますけれども日本には大きな都會でも屋內で水の溫度を一定度に保ち多人數の人が游泳し居るやうな設備が出來て居りませぬ。亦亞鈴體操だとか或は柔軟體操だとか器械體操だとか云ふやうな事も敎へて居りますが、それも學校に居る間はいやでも勉強しなければ試驗の成績に關係しますから神妙に行りますが、學校を卒業してから女の方が誰れが柔軟體操を行りますが、どうも此體操と云ふものは他の事と異つて誠に興味が無いからであります。けれども若し子供を連れて行つて泳ぎの稽古をさして御覽なさい、子供は歸らうと言つても中々歸らない、何故歸るのを厭やがるかと云ふと、詰り此水泳が面白いからであります。さう云ふ風に體育の事なぞでも獨逸人のやり方は中々面白い事を考へて行つて居りますから、知らず識らずの間に體力も盛んになつて來るのであります。近頃テニスなぞも彼方の女の人が大變盛んに

行つて居りますが、これは面白いからです。それから又一寸道を歩くにしても彼方の人を御覽なさい、脚でも日本の女のやうに内輪には歩きませぬどんどん外輪に歩いて居る、又靴を穿いて三里も五里も遠足して御覽なさい、日本の人であれば迚てもそんなに歩るかれませぬが、西洋の女の人は大抵靴を穿いて山にも登るし道も五里位繼け樣に歩るいたつて平氣です。獨逸の子供は背嚢を負つて學校に參ります。又婦人で袋を背中に負ひ重たいものをつめ込み高い山へ登たり致します。平氣です。それ等を觀ますと力も多いし足も強いし、日本人とは比較になりませぬ。

それから又日本人が坐わつて居ると云ふことは衞生上には甚だ良くないことで、斯う云ふことを行つて居つては立派な體格が出來ませぬ、であるから今日から此坐わることは廢めて誰れでも脚を投出して坐つて居つても行儀の惡るいことにならないやうにしたいのであります。さう云ふやうなことからいろいろ改めて行くと、日本の家と云ふものは疊を敷くことを廢めなければならぬ。大掃除が來ると掃除するから大丈夫、表換をすれば大丈夫だと思つて居たつて其疊の心に結核菌が入つて居つたなら表換をしても何にもならない、結核菌は平氣で心の中に住んで居ることが出來ます。こう言ふことは矢張り日本人の習慣として永い間平氣で行つて居りますが、さう云ふ事は出來るだけ早く改良して行かなければなりませぬ。日本に居つても能く火事で燒けたと云ふことを聞きますが、外國に居ると日本の大火と云ふ事が能く知れるので、西洋人から日本の家は能く燒けると云ふのは木で造つてあるから無暗に燒けるんだらう、何故もう少し確乎りした家を建てないだらうなどゝ斯う云ふことを言はれる　斯う云ふ事は日本婦人衞生會のやうな會が衞生と云ふことに重きを措いて、さうして雜誌の發行、其他の方法で力を盡して下さるので吾々男子の方から頭を下げて感謝しなければならぬことであります。皆さんも斯う云ふ方

面に力を盡して下さつて一生懸命で新聞雜誌にでも唱へるやうにして、直さなければ何うしてもいけませぬ。

それから一寸思付いた事でございますから申しますが、此頃日本でも花の會と云ふことを行られるさうですが、私はゲッチィンゲンに居た時に花の日の催しを見ました、此町は凡そ三萬乃至四萬の人口を有して居るのであります。花の日になるとこの町が花で飾られました。澤山の人が出る、中々出る、花を賣る女の行列があると云ふ譯で、其花の値段は何の位であるかと云ふと獨逸の金で日本の金にしますと五錢に當りますが、其花の日と云ふのは慈善の目的で起されたと云ふことでありますから、成るべく澤山買ふと云ふ風でそれを澤山持つて居れば居る程體裁が良いと云ふやうな風でありました從て若し一つも持つて居らぬと彼の人は慈善事業の爲に興味を有つて居らぬと云ふやうな譯で、そこで喜んで買ひに來る。で其賣りに出るのは娘さんが一方に花籠を持つて、一方には金を入れる函を持つて居ると云ふやうにして賣りに出掛ける。でさう云ふ僅か三萬乃至四萬位しかないやうな小さな街ではありますけれども、それでも中々澤山の金が集まりまして、諸種の費用を引いて仕舞つても却々澤山の金が殘つたと言ふことを後から聞きました。又在獨中にも他の都市で花の日を催されたことも承りましたし、後に倫敦に參つて丁度花の日に出くわし、其模樣を見ることが出來ました。此頃日本でも斯種の催しが出來ると言ふことで、今日此處にお出でになる御婦人のうちに、其發起人であらせられる方々もあると信じて居りますが、斯かる催しは寔に結構なことであります。慈い事の爲めに好んで力を盡すと言ふ考が一般の國民に知れゝばそれは中々面白い事だらうと思ひます。倫敦の花の日も中々盛でした。花の倫敦と云ふ位で街は非常に澤山な人が往復して居るのですが、其處に澤山のお孃さん達が出て花を賣るのです貴顯の身分の人もありました。斯かる人々が特に慈

善事業の爲に自ら進んで苦しさを忘れて、一生懸命で花を賣ることに盡力して居るのであります。で段段斯う云ふ慈善の目的の爲に金を出すと云ふことと金を集めると云ふことが一般の國民によくわかれば中々澤山の金も集まつて非常に善い事と思つて居ります。

種々と取りませて一緒に申上げてお解り難かつたと存じますが、要するに是からの日本の婦人は今日よりは段々模樣も變つて來る、何故かと云ふと日本にも生活困難と云ふ風が吹いて來て、世の中の暮しが苦しくなる。三年か四年程以前私が東京を立ち去た時にくらべると、今歸朝して東京に參り生活が困難になつて居る度の劇しきに驚かざるを得ませぬ。其結果女の人達が職業を求めて生活して行かなければならぬと云ふ必要が起つて來ます、今日でも紡績とか其外織物工場とか云ふやうな所に頻りに行つて仕事を爲するやうになつて來て、澤山の若かい娘さん達が仕事をして居る。ところが外國では勞働者の爲めに金を懸けて醫者を置くと云ふ事、其の中に職工が病氣になつた折にお醫者さんが無料で來て診て呉れる、藥を無料で呉れる、或は其外、病人は特に轉地療養をさして呉れるとか又は病院に入れて治療をさして呉れるとか云ふ風に會社の方から金を掛けて手當を十分にして呉れたり、又一方には疾病金庫と言ふ制度もあります。紡績工場のやうな烈しい仕事をする處は空氣が惡るいから其處で長く居ると胸の病氣に罹る人が澤山あります。實に紡績會社は女の人を殺す處だとまで言はれて居るやうな工合で若かい人が澤山に死んで居るのであります、さう云ふ事は是から婦人會と云ふやうなものが率先してもつと能く養生をするやうに食物ももつと良い物を採るやうにし、寢る所も光線の能く通る處に寢られるやうにしなければ、どうしても世の中が發達して行かない、此工場などで體が惡くなつて靜養する場合でも寢臺はひどい處に造つてあり、又衞生を無視した處も少なくないと言ふ話を聞きました、其室と言つ

たら夜だか晝だか分らないやうな眞暗な所でさうして其中に瓦斯が一杯籠つて居るから平常でも病氣になる、黴菌と云ふやうな物が居れば益々喜んで多數になつて繁殖して行きつゝあるのですから、若しさう云ふ處で肺病にでも罹れば直ぐに死んで仕舞ふのでありま す、さう云ふ事に注意を加へると云ふのは今日の我國で大に必要な問題でありますから斯う云ふ婦人衛生會の會員のやうな方々が率先して社會の輿論を惹起して、斯んなに多くの婦人を殺すのであるから是れではいけないと云ふ事を叫んでさうしてどうかもつと今日の有樣を改革して行かなければどうしても他國にも負けて仕舞ひます、日本も段〳〵歐羅巴大陸と關係が密接になつて來ますからして矢張り一生懸命にやらなければ、どうしても追ひ付けない、愚圖〳〵して居るうちに歐羅巴の文明はずんずん先きに進んで行くのでありますから、それを此方から同じ樣に追ひ付くには從來のやうな小步で行つて居つては到底追ひ付くことが出來ませぬから、そこで皆さんが強い身體を作つて、さうして一生懸命に體を大切にして、一方には精神を研いて、而かも體も精神と共に強い勝れた者にしてやつて行けば追ひ付けないと云ふことは決してないのであります。

私が唯今申上げたやうな事は誠に詰らぬことでお解りにならなかつたお方もおありでせうが、要するに獨逸人がさう云ふやうにして著々進んで行つて居るから今度の戰爭にも中々負けぬのであつて、獨逸では何事もさう云ふ風に組織的に出來て居ります、陸軍でも海軍でも組織が完全に出來て居つた爲めに中々戰爭にも敗けないのであります、其負けないと云ふ後ろには一つは婦人がいろ〳〵社會の事、或は其外の事に力を盡して居られる爲に矢つ張り兵隊が戰爭も十分に出來ると云ふやうな譯であると思ひます。で日本は兎角露西亞に勝つた、強い國だと言つて高慢を致して居る時ではない。日本の將來を考へて男も女も大に覺悟を致さなければならぬ秋なのです。私はこれに三つの條件が要ると信じます。それ

は一に努力、二に努力、そして三にも努力だと申し上げたいのであります。こう言ふお考で皆さん方がお助け下さつてそれによつて社會が進んで參れば是は非常に結構なことであると存じます。
終りに臨んで皆様が私の話をお聞き下さつたことを感謝致します。

叢談

吾々は何の爲めに食事をなすか

農學博士　澤村　眞

人は老ひたるも幼なきも日に三度の食事をなさねば生きて居るわけにまゐりません、それで食事は生命をつなぐ爲めに攝るものであることは何人にも分つたことであります、しかし食物の種類は數多ありまして或は肉の如く獸や魚から得たものもあり又米麥の如く植物の實もあります、又人にも老ひたるあり幼なきあり健康なるあり病人あり或は手足を使ひ働く人あり又何事をせずに一日を送るものもありますかく人の身體の狀態にも違があり又食物にも種類があれば總べの人が何時も同じ食物を攝ることも出來ず又攝りて良いと云ふわけにまゐりません、さて場合によりて食物を選ぶとすれば如何にしてよいか、之を研究することは衞生上に大切なることは申すまでもなく亦一家の經濟の上にも大なる關係あるのであります、しかし食物は如何に選びてよいかは食物を攝る道理を明にせねば分りにくゝあります、夫れ故に先づ食事をする理由を簡單に述べませう。
人の身體は主として水蛋白質脂肪灰分の四つから成立つて居ります、人體に水を含んで居ることは汗の出るので分ります、又灰分のあるのは骨や齒のあるので分ります、蛋白質は牛肉などの赤身で脂肪は白

身であります、牛肉が蛋白質と脂肪とから成立つて居れば吾人の肉も蛋白質と脂肪とから成立つて居ることは想像するに難からぬ所であります。

さて此四つの成分は吾々の生活する爲めに時々刻々に分解して身體を去ります、水が吾々の身體を出て行くのは尿の出るので直に知れます、蛋白質は命の元であります、身體の細胞の中で蛋白質が分解して生命を繼ぐものでありまして蛋白質の分解の止むときは吾人の生命の絶へるときであります。

吾人は生命を繼ぐ外に力と熱とを體中に生ぜねばなりません、吾々の體溫は攝氏三十六七度ありまして空氣の溫度よりは通常高い爲めに吾人の身體は絶へず體溫を失ふものであります、夫で一定の體溫を維持する爲には體中に熱を生ぜねばなりません、何人でも日々手足を使はぬものはありません、働く人は勿論大に手足を働ひ大に力を出しますが隱居の年寄でも立居の爲め幾何か手足を動かさねばなりません夫れ故に吾々の身體中に力を生ぜねばなりません。

吾々の生活には力と熱とが入用でありますが力と熱とを生ずるものは蛋白質と脂肪とであります此二つのものが體中で分解すると力と熱とが生じます恰ど石炭を竈で燃せば熱し又蒸氣機關では夫によりて機關が動き出し或は汽車を走らせ或は器械を運動させるのと同じことであります、夫れで生活する間は蛋白質と脂肪の分解することは免れませぬ灰分も此等のものゝ分解するときには多少分解します脂肪が分解すれば炭酸瓦斯と水となり蛋白質が分解すれば炭酸瓦斯と水の外に尿素と云ふものが出來ます、炭酸瓦斯は主として肺から吐き出します、尿素と灰分と水とは尿で排泄します。

かくの如く吾人の身體は時々刻々分解しますから食事をせずに居れば身體の目方は段々減りまして三割位も減量しますと餓死します、餓死するを防ぐには身體の分解した物質を補ふものか又は自ら代りて分解して身體の物質を保護するものを攝らねばなりませぬ、身體の物質を補充するか又は分解を防ぐ效あ

るものは之を養分と申します、養分を含んだものが食物であります、即ち食物は生活の爲に分解する物質の補充をなし或は其分解を防止する目的を以て攝る所のものであります。

それから幼なき人は生長をします、生長は肉や骨の大きくなることでありますから體中に蛋白質や脂肪や灰分の集積せねばならんことは明であります、それで生長するにも蛋白質灰分などの大に必要なることは云ふまでもありません。

食物は以上述べたるが如き目的でとるものでありますから其分量や種類は生活の狀態によりて選定せねばなりません、例へば生長する人には骨や肉の增すやうな食物を選び働く人には力の能く出るやうな食物を選ぶやうに病氣なり妊娠中なりそれ〳〵場合に應じて食物を異にせねばなりません、食物は只腹に充つるだけ何でもつめ込んで置けばよいものではありませぬ、此迄學者の研究した學說と從來の經驗とに由りて夫れ〳〵場合により選定せねばなりません

さて如何に食物を選ぶべきかは食物の性質などを考へて定めねばなりませんからこれから追々と食物の性質につきて說明しついで食物の料理に關することから食物の選定に關することを述べやうと思ひます。

妊娠性精神病といふこと

醫學士　下田光造

妊娠性精神病と申しますのは妊娠中に起る精神病といふことであります。從前はこれは全く獨立した一種の精神病で、妊娠時以外に起る他の種々な精神病とは全然異なつた病氣であるといふことになつて居りましたが、此頃の研究ではこれは間違ひで、妊娠性精神病と申しましても別に特別の病氣ではなくて只普通の精神病が妊娠中に起つたといふまでゞ、同じ種類の病氣は妊娠でない時にも、或は男子にも起るものであるといふことになりました。

それはどういふ種類の病氣であるかと申しますと、

妊娠性精神病で一番多いのは、鬱憂病といふて無暗に鬱ぎ込んで泣いてばかり居り、其ために自殺を企てたり、絶食したりする病氣であります。それから躁病といつて前のと反對に大變愉快で始終饒舌り、少しもぢつとして居ないで躁ぎまはる病氣も起ります、又早發性痴呆といふ病氣もあります、急性錯亂狀態といふのもあります。

妊娠といふことは婦人の一生涯の中では非常な大事件でありまして、此時には婦人の身體に大變化が起ります。只子宮が漸々大きくなつて來るといふことだけでも大事件であります、それから妊娠中には血液の循環の工合が平生とは違つて參ります、血液の性質も變ります、總て身體の新陳代謝の様子も變化しますし、胎兒の體から出來る色々の有害な物質も母の血液の中に入つて參ります。之等は實に婦人の身體の非常なる變化でありますのに、尙ほ此外に妊婦殊に初妊婦は種々の意味で非常に感動します、母になるといふ感じや、妊娠といふことに對する一種の不安や、分娩の苦しみに對する恐怖心や羞恥心、將來の心配や樂しい希望などが交々精神を刺戟いたしますので、大抵の婦人は妊娠中には色々の神經症狀を起します。すなはち所謂神經過敏症、食欲不振、惡心、嘔吐(惡阻)、異食症、子癇等が妊娠中に起ることは皆様のよく御承知のことであります、此外妊娠性舞蹈病、テタニー、神經痛などを起すこともあります。此等は何れも神經病の方であります。精神病の方は割合に少ないものであります、殊に產科學の進步につれて妊娠中の衞生は行き屆き、分娩は容易になり、產褥に起る熱病も殆んど無くなるといふ有様でありますから之等の時期に起る精神病も非常に少なくなりました、以前は婦人の精神病者が百人あるとしますと、此中妊娠性精神病が三人、產褥性精神病が十人、授乳性精神病が五人位の割合にあつたものでありますが、此頃ではもつと少ない様であります、殊に產褥性精神病は餘程少なくなりました。

妊娠性精神病といふものは、適當な治療によつて癒

ることが多いのでありますが、併し又癒らぬものも少なくない。殊に一度癒りましても習慣の樣になりまして妊娠の度毎に再發することが多い。或は又遂に癒らずして一生涯精神病者で終ることもありますし、又此精神病のために妊婦も胎兒も共に死亡することも少なくありません、或は又妊婦の生命を救ふために人工早產を行はなければならない場合もあります。更に怖ろしいのは、妊婦が精神病に罹つたために其胎兒に及ぼす種々の影響即ち遺傳關係であります。妊婦が精神病にかゝつて無暗に躁ぎ狂ふといふことになりますと、胎兒の迷惑は一通りではありません。何時どんなところに大きなお腹を打ちつけられないとも限りません、或は精神病のために妊婦が數日間食事をしなかつたり其他の理由で非常に身體が衰弱して參りますれば、胎兒も又充分發育することが出來ません、こんな理由で胎兒が分娩期を俟たずに死亡することは少なくないのであります。さてまた斯程ひどい精神病でなくて胎兒も發育し出生し成長するといたしましても、其人は精神病者の子でありますから精神病性遺傳を有つて居る不幸な人となるわけであります。何れにしても斯ういふ病氣は起さない樣にするのが肝腎です。

そこでどういふ婦人は妊娠中精神病に罹るかも知れないかと申しますと、先づ平素神經質な人卽ち無暗に物事を氣にするとか、非常に內氣で小膽で、引込み思案ばかりして居るとか、一寸した事にも非常に感動するとか、無意識に目をパチクリさせたり口角を引きつけたり其他色々な妙な癖のある人、感情が變り易くて無暗に憤怒し癇癪持ちの人、馬鹿らしい程潔癖の人、空想に耽り勝ちな人、物事に飽き易い人反對に事に無暗に熱中する人、色情の異常ある人、月經時に人一倍色々な故障のある人、神經衰弱にかかつて居る人、臟躁病の人、以前に精神病に罹つたことのある人などは皆精神病性體質と申して、何れも精神病に罹り易い傾向を有つて居るのでありまして、妊娠といふ樣な身體精神の大變動に遭遇します

と精神病を發し易いのであります。第二にはまた斯様な人は勿論のこと、さうでない人でも妊娠中に非常に何事かに感動するとか、悲境に陥るとか、非常に激怒するとかいふ様なことがあるのも精神病の發する基となります。例へば妊娠中に夫に虐待されるとか、夫の品行其他について嫉妬、苦痛などが絶えないとか、近親の不幸に遭遇するとか、家計上に甚だしい心勞があるとかいふ様な場合であります。妊娠性精神病が初妊婦に多いのは、初めての事で萬事過度に心痛することが非常に關係するのであります又此精神病が私通妊娠の場合に多いといふのは此時には色々の不安や苦痛が多いためであります。

私が最近診ました中一つ二つ例を擧げて見ませう一人は二十四歳の婦人でありますが子供の時から大變憤り易い性質で、些細の事でも母や姉妹と喧嘩をしますし、さうでない時は一般に爽快の方で僅かの事にも躁ぎ立てる性質でありました。二十三歳の十二月に結婚して翌年二月に妊娠致しました、丁度其頃夫が獨立して新たに商店を開くに就いて適當な家を搜したのでありますが、運惡しく適當な家が見付からず、一方商業上の都合もありますので夫と二人で大變に奔走し非常に心痛して居りましたところ、四月中頃(妊娠三ヶ月の初め)になつて突然家出をして二日許り當てもなく歩き廻り、理由もなくして無暗に怒つて吐鳴りちらし夜も眠らないで饒舌りつゞける様になりました、其月の末頃には不用な高價な物品を矢鱈に買ひ求め、大きな事ばかり言ふ様になつて、自分は天皇陛下よりも偉いのだから親戚のものは皆華族にしてやるとか、看護婦に三萬圓宛呉れてやるとか大變な事を言ふばかりでなく、高聲に放歌し、廊下を驅けまわり少しもじつとして居ないといふ有様、斯様な激しい躁ぎ方は九月頃まで續きましたが其頃から比較的靜かになりまして晝間も多辯ではありますがじつとして居る事が多く、夜分もよく眠る様になりました、十一月になつて漸く治癒し其月に健全な男子を分娩いたしました。

今一人産褥に起つた例を申しますと、三十歳になる婦人、これは前の人とは異つて生來非常に小膽内氣であつたのみならず、十三四歳の頃から時々非常に鬱ぎ込むことがありました、其上にあまり品行がよろしくありませんので親戚に預けられて居りましたが、昨年五月十八日に私生兒を分娩いたしました、其兒は里子といたしまして自分は産褥に居りますと其月の二十八日になつて突然泣き出し「殘念ダ〳〵」といつて家を飛び出そうとする樣になり、また「殺シテ呉レ〳〵」といふかと思へば意味の連絡しないことを無暗に竝べ立て、泣いたり笑つたりする樣な有樣で家の人も手がつけられぬ樣になりました。これは七月の中頃には全く癒つて退院致しました。之等は元來精神病性體質があるところへ前の人は家事上で、後の人は私生兒等の關係で何れも甚く心痛した結果精神病を起すに至つたのであります。

妊娠性精神病にかゝりますと母子共に非常な不幸に陷るのでありますから前以てこれを防ぐことが必要であります。それには前申した樣な精神病性體質の人は精神の修養治療をいたしまして其健全を計らなければなりません、神經衰弱や「ヒステリー」は永引きますと甚だ癒り難い者でありますから早く治癒して置かなければなりません。妊娠中は出來る限り心身を靜に致しまして感動過勞を避けなければなりません、殊に以前に精神病にかゝつた事のある人は餘程注意し、且つ自分のみでは不充分でありますから家族の方の監視を嚴重に致しまして精神病を未發に防ぐ樣に致し度いものであります。

乳房の疾患に就て（承前）

鈴木平十郎

産褥性乳腺炎

産褥性乳腺炎には二種類あります、第一は乳汁の鬱滯に因るもの即ち鬱滯性乳腺炎で、第二は化膿菌の侵入に因る化膿性乳腺炎であります。

鬱滯性乳腺炎は乳汁の分泌旺盛なるにも係らず、授乳を中止するか、乳兒の吸乳不充分なるか、或は何かの原因で乳汁の出る道が閉塞せられたときに起るものでありまして、乳房は乳汁鬱滯の結果腫大、緊張しまして、疼痛を發し皮膚は少しく赤味を帶びて來まして、時に熱發する事があります、之は別段危險な病氣ではありませんが、可なり苦痛を感ずるものであります故、出來るだけ乳腺内に鬱滯して居ます乳汁を排出する事を努めなければなりません、輕度のものでありますれば他人に吸つて貰ひ苦痛の緩解することもありますが、烈しいものは醫者の手を借りて特殊の吸引裝置で乳汁を排出して貰はなければなりません。

化膿性乳腺炎は前回に述べました通り。乳首又は其周圍の創傷又は小腫物等より、黴菌卽ち化膿菌が乳腺組織内に侵入し、玆に烈しい炎症を起し遂に化膿するものでありまして、其症狀前者に比し激烈で、患者の苦痛も亦甚だしく、時に重篤な疾患となることがあります。

此の炎症の起りました部分は非常に痛い硬結となつて現れ、乳房は全體に亙つて腫脹して來ますと同時に高熱を發し、烈い時には惡寒戰慄を伴ひます、此の硬結の部分の皮膚は赤くなり、且つ緊張の爲光澤を帶び、觸れますと熱く感じます。

斯樣な變化を認めましたならば早速醫師の治療を受く可きであるは勿論でありますが、其迄の應急手當としまして、身體の安靜を保ち、消化し易い食物を攝取し、局部に溫罨法を施すことが必要であります罨法藥が間に合はぬ場合には單に溫湯（痛が增さぬ限りは出來るだけ熱い方が宜しい）を用ゐて差支ありません、溫湯を浸した布片の上へは油紙及び厚き布を輕く卷いて溫の發散を妨げ、且つ衣服の濕るを防ぐ樣にするのであります、尙ほ常に高溫を保ち、冷却しない樣に屢〻之を交換しなければなりません然しながら單に之のみに依賴して治癒を待つ樣なことをせず、必ず醫師の診察を受け、適當の治療を施

して貰はなければならないのは勿論であります。

以上で授乳時に起る乳房の疾患に關することは概略述べ盡した積でありますが、尙ほ一言御注意して置きたいことがあります、それは衞生思想の進步した今日餘り見聞しない事でありますが、乳汁の分泌が夥多で自分の乳兒に與へるには多過ぎる所から、他の母乳に乏しき乳兒に授乳することがあります、斯る事は母體にとりましても亦自己の乳兒の爲にも不慮の危險を起すことがあります故、全然なさらぬ樣に願つて置きます。

乳腺の腫瘍

乳腺內には種々の腫瘍が出來ます、腫瘍と申しても「ねぶと」と云ふ樣な腫物と異り、餘り痛みの無い化膿もしない硬い出來物であります、これには性質の良いもの、卽ち餘り害の無いものと、惡性のもの、卽ち人體に對し害を及ぼすものとの二種類あります前者は發育の極く緩慢なもので長い間同じ樣になつて居りますが、後者に屬するものは發育迅速で、附近の組織內に侵入し之を犯し、或は離した場所に飛んで行きまして遂に救ふことの出來ない樣になるもので、御承知の癌腫の如きものは之に屬するものであります、この癌腫は乳腺に屢々發するものでありまして、上述の如く極て恐ろしいものであります故早く之を發見して、外科的手術に由り摘出しなければなりません、一刻も放置すべきものではありません、然しながら之と他の性質の良い腫瘍との區別は醫師でなければ出來ませんし、又良性のものでも何時惡性のものに變化するかも知れません故、若し乳房に餘り痛くない硬結(かたまり)を發見しましたならば、直に醫師の診察を受け、場合に由つては決然たる處置をとらなければなりません、早期に思ひ切つて手術的療法を受けますれば、斯の如き難病と雖根治することが出來るのであります。

小兒結核の豫防法

醫學士　大久保直穆

昨年十月の大阪兒童學會例會席上に於て、大久保學士のなされた演說は、小兒結核の豫防に就て是非心得てゐなければならぬ事柄を極めて明確に述べられた有益なものと思はれますから『兒童硏究』に掲載されたものゝ中から、その直接に豫防法に關する部分を摘錄して茲に御紹介致します。

小兒結核病の豫防法

前述の如く、小兒は極めて結核に罹り易きも、亦其抵抗力甚だ大にして能く治癒し得べく、而して大人結核の多くが小兒期に於て經過したる潜伏性結核の再發なりとすれば、所謂結核豫防法に於ては實に小兒結核の豫防を以て其根本義となさゞる可らざること明なり。

凡そ人の傳染病を患ふるには二つの要素あり、一は病原菌の體內侵入、二は身體に於ける防禦力の缺乏即ち侵入したる病原菌に感染し易き體質之なり、人の結核に罹患するもの亦此の二要素を要す、茲に於てか一般結核豫防法として亦自ら二大眼目あり。

一、結核菌の撲滅法を講ずること
二、結核に罹り易き體質を豫防すること

之なり。

小兒結核の豫防法と稱するもの、亦此二大項目に外ならず、然れども結核菌は、方今洋の東西を問はず苟も人類の生存する所之無きは無く、從て之を盡く撲滅せんとするは倚天に梯して昇らんとするが如し要は成し得る限り多數の結核菌を撲滅すると同時に小兒をして結核菌に接觸するの危險を避けしむることに勉め、兼ねて其體質を強健ならしめ、既に罹患したる小兒は早期に適當なる處置を施して速に治癒せしむることを勉むるに在り。

一、病原菌の撲滅法

結核菌は主として動物體内に於て繁殖するものにして、外界に於ては只極めて好影響の下僅かに其生活力を維持し得るに過ぎず、即ち人の結核は動物殊に主として結核患者より傳染するを多しとなす、故に其傳染の危險物としては結核患者の分泌物及び排泄物殊に喀痰を以て最となす、其他結核を有する動物の肉及び乳汁も亦時として傳染危險物たることありと雖ども、之等は之を煮炙することに依て無害ならしむるを得べし。

一般に喀痰は何病たるを論ぜず、最も恐るべき傳染の媒介物たり、例へば百日咳、痲疹、流行性感冒等總て其喀痰は其病の病原菌を包有す、故に一切の喀痰は嚴重に之を消毒するか、少くとも之を散亂せしむ可らず、殊に室内に於て然りとなす、結核患者の喀痰に就き注意すべき事項左の如し。

(1) 痰壺には五%の石炭酸水、若くは「クレソール」水を加へ、二十四時間放置して後放棄すること

(2) 手巾の如きに喀痰の附著せるは、五%石炭酸水に二十四時間浸すか若くは熱湯を注ぐべし。

(3) 痰喀出の際手指衣服等を汚染すべからず。

(4) 結核病者が咳嗽談笑するの際其喀痰若くは唾液が結核菌を包有する微細なる飛沫となりて飛散し、之に依て他に傳染せしむるが故に、病者自らも亦對談者も共に注意せざる可らず。

(5) 結核病者は爪を剪り、手指を屢々消毒し髯を短くし、又屢々含嗽を行ふべし、之れ一は他に對する傳染を豫防すると共に、自己の手指等に附著したる結核菌に依て自ら他の部分に結核の自家重傳染を起すを豫防するものなり、從て又喀痰は決して之を嚥下すべからず。

(6) 衣服及び寢具の清潔に注意すべし、衣服の清潔は人皆其必要を知る、寢具は吾人一生の時間の三分の一を托する場所なり、清潔にせざる可らず屢々日光に曝らすを以て最も可とす、殊に肺病患者の衣服及び寢具は最も嚴重に消毒することを要す

(7) 結核患者の居室は掃除の際塵埃を立つ可らず即ち濕布を以て拭ふを可とす、患者死亡せる際は殊に嚴重に居室及ひ一切の衣服、寢具、器具等を消毒し若くは燒却するを可とす。

(8) 結核患者の居室には小兒を接近せしむ可らず殊に其室内に於て小兒の匍匐するは最も危險なり

(9) 結核病者は能ふ限り適當なる病院に隔離するを可とす。

二、結核に罹り易き體質の豫防

結核性體質は一は遺傳一は誘因に因て釀成せらる、遺傳は健康なる結婚に依て之を防ぐことを得べし、其誘因としては種々なるものあり。

(一) 社會的位置、腺病質性體質（虚弱にして結核に罹り易き體質若くは既に淋巴腺結核を有する小兒）は上流に於ては六%下流に於ては三四%なりと云ふ、故に又結核は貧民病とせらるゝことあり

(二) 光線不足及び住居の濕氣、光線が吾人の健康に最も必要なること、既に人の知る所なり、千八百六十年ベルリン市に於ける統計によるに、光線に面する側の家屋と光線に乏しき側の家屋に於ける種々なる疾病の死亡率は左の如き比をなすと云ふ

病名	光線に面する家屋	光線に乏しき家屋
「チフス」	一	五・四
「ロイマチス」	一	四・三
腦病	一	四・〇
胃腸病	一	三・六
肺病	一	三・五

又濕氣ある住居は屢〻氣管枝加答兒を起こし、呼吸器を害すること大なり。

(三) 不潔なる空氣、空氣不潔なる都會の小兒は虚弱にして結核性のもの多く、空氣清純なる田園の小兒が健康にして結核性のもの少きは、東西統計の共に一致する所なり、吾人は不潔なる空氣中に在ては不知不識、淺き呼吸を營み、空氣清純なる野外に出ては呼吸自ら深大となる、清純なる空氣は又著しく食慾を亢進するの效あり。

(四)運動外出の不足、徒らに小兒を庇護するに過ぎ、室内に止むる時は運動不足の結果、筋肉弛緩し、皮膚薄弱となりて感冒に罹り易く、食慾不振を來し、身體虛弱となる。

(五)誤りたる小兒榮養法、例へば人乳榮養と牛乳榮養とを比較するに其死亡率前者一に對し後者四を示す、又此結核罹患數は前者二六に對し後者四一を數ふ、人乳榮養の尊き所以なり、其他適當なる時期に於て適當なる雜食を與へざる時は小兒をして虛弱ならしむ。

(六)皮膚衞生の不足、例へば皮膚の不潔なる、或は浴法の足らざる或は衣服の不適當なる等の爲め皮膚虛弱となる時は、感冒し易く、從て又結核に罹り易き素地を作る。

(七)種々なる小兒傳染病經過後、例へば百日咳、痲疹、肺炎、流行性感冒の如き呼吸器を侵す疾病に傳染する時は其經過後に於て、屢〻小兒は結核を續發することあり。

以上の如く結核に罹り易き體質を作るの誘因明なる以上、之を豫防するは其誘因を除去するに在り、重要なる事項を擧ぐれば左の如し。

第一、乳兒の養護

(一)母乳榮養を勵行し且つ規則正しく授乳すること。

(二)口腔及び手指の清潔、乳兒の口腔及び手指を清潔にすると共に、母も亦自ら全身殊に口腔、手指及び乳房を清潔にせざる可らず、殊に授乳の際母は自ら手を清洗し先づ一%硼酸水、或は二%重曹水を以て、乳兒の口腔を清拭し、次で乳嘴を清拭すべし、乳兒の口腔は比較的黴菌に乏しくして清潔なれども、大人の口腔には無數の黴菌あり、其唾液は、乳兒に對し甚しき危險物たることを知らざる可らず。

(三)乳兒の居室及び衣服の清潔、居室は光線に富めるを選むべく、常に疊を清潔ならしむべし、乳兒が匍匐するは甚だ危險なり、其習慣を養成せざ

るを可とす、衣服及び玩具は常に清潔なるを要することと論を俟たず。

(四) 外氣日光及び温浴、春秋温暖の候に於ては、生徒一ヶ月前後より外氣に馴れしめ日光に中らしむるを可とす、又日々一回温浴を行ふは皮膚を清潔並に強固ならしむるの效あり、一二年の小兒は尚外出の際能ふ限り群集を避くべし、傳染の危險多ければなり。

第二、幼兒の身體強固法

(一) 外氣及び日光、幼兒は成る可く光線に富める靑天の下に遊戯せしむべし、假令塵埃多き外氣と雖ども、尚室内よりも可なり、但し滿四五年に達する迄は尚寒風及び炎熱に對し充分なる保護を要することを忘る可らず。

(二) 衣服は成るべく輕裝を主とし、寒熱に對し適度なるを要す。

(三) 運動、亦度あり、殊に虚弱なる小兒に對し過度なる運動を強ゆるは害ありて益なし。

(四) 淸潔なる空氣に觸れしむるは運動よりも、更に食慾を亢進するの效あり殊に虚弱なる小兒に於て其然るを見る。

(五) 食物、雜食を初むるの時期は乳兒發育の狀態と季節とに依りて、一概に云ふ可らざるも、一般には滿一年上下門齒各四枚を發生したる際に於てす、先づ牛乳卵黄薄粥等より漸を以て始む、注意すべきは食事回數を一晝夜間に於て五六回以内(母乳共)となし間食の習慣を養成す可らざること及び夜間食事を與へざること等なり、幼兒の食物は成る可く雜食を主とし、殊に牛乳魚肉の如きを多く與へ、滿四年以内は尚柔軟なるもの丶みとし、其以後に於ては大人と食卓を共にせしむるも可なり。

(六) 寢室は成る可く廣きを選ぶべし。

(七) 水治療法。幼兒をして成る可く日々一回の温浴を取らしむるは、皮膚を強健にすると同時に之を淸潔ならしめ、傳染病を豫防するの效あり。

其他皮膚の所謂冷水摩擦法、海水浴、及び轉地等に就ては幼兒の體質に依り其方法及び分量を取捨せざれば、却て害を來すことあり、一に良醫の助言に待たざる可らず、一般に云ふ時は冷水摩擦法法は滿四年以後温暖なる候温湯より始むべく、海水浴は就學年齡以後に於て、一日一回乃至二回以內、五分乃至十分に止むるを可とす、轉地には適當なる保護者の下、設備乏しからざる地方を選ぶべし、冷水摩擦法、海水浴、轉地等は之を適當に行ふ時は幼兒身體の強固法にして最も效あり。

第三、幼稚園及び學校に於ける保護

(一)教室の清潔、光線及び通氣

(二)教室內に塵埃を立たしむ可らず、卽ち兒童の掃除を廢すべし、小兒は其皮膚及び粘膜全身何處よりも結核菌の侵入を受くればなり。

(三)教師及び學友の結核病者より傳染を豫防すること。

(四)學校傳染病を豫防すること、百日咳、麻疹、猩紅熱、流行性感冒、肺炎等小兒傳染病後に於て屢〻小兒は結核を發することあればなり。

(五)幼兒は寒熱に對し尙充分なる保護を主とすべく、妄りに、或は急に之に耐えしめんと勉むるは却て角を矯めて牛を殺すの愚に陷るべし、宜しく漸を以てすべきなり。

(六)兒童を成る可く、屋外に在らしむ、塵埃多き場所と雖ども、尙屋外は室內に比して傳染の危險を少からしむ。

(七)虛弱なる兒童の保護、虛弱なる小兒は就學の延期、或は休學を要することあり、又宿題は兒童の體力、及び能力に應じ、能ふ限り取捨を要す、虛弱なる兒童は宿題過重の爲め體力を損することあり。

(八)小兒結核の初期は屢〻顏色蒼白、元氣缺乏羸瘦成績不良等を以てすることあり。

(九)歐洲に於ては林間學校なるものあり、虛弱なる小兒を林間に集めて教育す、又夏期轉地は近

來我國に於ては實驗せられ其結果良好なるものあるが如し。

以上に依て結核病が如何に恐るべく、人類を害しつつあるか、結核豫防上、小兒結核豫防法が如何に重要なる意義を有するか、及び小兒結核豫防法が如何なる方針に出づべきかを略述せり、最後に予は本病が如何に能く治癒するかに就て一言せんと欲す、學者の説に依れば結核病の六・〇％は自然治癒を營み、二・〇％は醫治し因て治癒すと云はる、試に歐洲一海岸病院の小兒結核治癒成績を擧ぐれば左の如し。

淋巴腺結核　八五％治癒

結核性脊椎骨炎　六一％治療　（以下略）

卽ち平均約七〇・％は治癒せることを知るべし、結核病が此の如く恐るべき疾患なると同時に、亦此の如く善く治癒すべき疾患たるの事實は、本病治療に際して醫師と病者及び其家族とが大勇猛心と充分なる忍耐とを附與せらるゝ所以にして、又結核豫防法の施行に充分なる效果を治め得べき所以なりとす。

鵞口瘡

哺乳兒、殊に生後二三週の小兒に屢ゝ起る所の病氣で、鵞口瘡と云ふものがあります。これは口中の粘膜、殊に下脣、舌、頰の内側の粘膜、齒齦と口脣の間の處などに白い斑點が出來て、少し隆くなるものであります。鵞鳥の嘴の兩側に白い處がありますから、それから鵞口瘡と云ふ名が出たものと思はれますが、西洋では「ゾール」と申します。

これは始の間は、乳滓が口の内に殘つて著いて居るのではないかと誤られますが、乳滓よりは粘り方が強く、これを拭取るときに往々血の出ることがあります、併し實扶垤里の義膜などのやうに固くついてゐるものではありませぬ。容易に剝すことが出來る剝すと云ふよりも容易に拭除ことが出來るものであります。

斯樣に書立てますと、例の六ケしい、餘り通常關係のない奇病かなんぞのやうに聞えますけれども、

決してさうでない、これはよくある病氣で、子供を育てたことのある人は大抵經驗して居らるゝ位ので、特に無精なお母さんは屢々經驗されたことゝ思ひます。

少しく注意して手當を致しますと 大抵わけなく治癒るものでありますけれども、元來虛弱な小兒又は衰弱して瘦せてゐるやうな小兒に鵞口瘡が起りますと、案外頑固で口中の粘膜に廣がり、これが爲に危險に陷るやうなことさへありますから、馬鹿にはなりませぬ。

その惡くなる場合には何んなになるかと申しますと口の內の粘膜が多少紫がゝつて紅色が強くなり、且つ乾燥して口の內の其處此處に白い斑點が澤山出來て參ります、而して小兒が乳を吸ふときに、口が痛いものでありますから、充分乳を吸はない、泣いで不機嫌になり遂に乳を吸はなくなります、これが一番困るのであります、それから下痢を起し、貧血して衰弱することがあります、さうすると口の內の粘膜の色が一體に惡くなり、鵞口瘡の色も變に灰色がゝり或は黃ばむだ穢い色になつて參ります。こんな風になりますと、鵞口瘡は單に口內に止まらず、もつと奧の方まで進むで、食道をも侵すことがあります、さうすると乳を飮むことがいよ〳〵困難になり、果はこれが爲に小兒は餓死するにも至ります。

それから又橫道の呼吸をする方、即ち會厭とか喉頭とかいふ方に擴がつて行くこともあります、さうすると咳嗽が出る、聲が嗄れる、更に氣管から氣管枝の方までも進行して參りますと、勿論咳嗽をする、熱が出る、呼吸が苦しくなる、所謂氣管枝肺炎といふやうな狀態になつて危險に陷ります。

扨この鵞口瘡の原因はと尋ねますと鵞口瘡菌といふ一種の黴菌で、顯微鏡にかけて見ますと、長い絲或は海草のやうな黴菌、即ち小さな植物でありましてこれが小兒、殊に哺乳兒の不潔な口腔粘膜に能く繁殖して、本症を起すのであります。

それでこれを豫防致しますのには、乳房、殊に乳嘴

を清潔にし、その他牛乳罎の吸口、オシヤブリの如き、小兒の口に入るものは凡てこれを清潔にし、小兒の口そのものも出來るだけ清潔に保つことが必要であります。

それでも若し起りましたならば、指に柔かな清潔なガーゼを卷き、これに硼酸水、食鹽水或は葡萄酒などを浸して靜かに白い斑點を拭取つてやります、これは乳を飮ませる度に、毎回その前に拭いてやるやうに致します。輕いのは大抵斯様なことで容易に治癒りますが、鵞口瘡の妙藥としては五％の硼酸「グリセリン」が一番宜しいやうであります、白い斑點を靜かに注意して拭除つた後でこれを塗つてやるのであります。これは能く利きまして、素人が用ひましても別に危險を來すやうなことがありませぬから、こゝに申上げて置いても差支はないと思ひますが、稍々重症のものになりますと、前に述べましたやうな危險な事もあり、實扶垤里やその他の重い病氣と誤る虞がありますから、少しでも怪しいやうな場合には直ちに醫師の診察を受くべきことは勿論であります。

變つた子供の身體

變つた子供と申しますのは、精神狀態が普通の子供とは異つた所がある、即ち神童だとか、馬鹿だとか云はれるたちの子供を總稱したのでありますが、精神病學者等は、特に教育病理學と云ふやうな一科を設けて精細な研究を致して居りまして、それに依りますと精神低格兒とか精神薄弱兒とか、それから又各細かに分けて研究を致しますが、こゝには只精神狀態の變つてゐる子供には、何處か身體の方にも普通と異つた種々の特徴があると云ふ事實を申上げて育兒上、子供に注意して觀察をなさる方々の御參考に供し度いと思ふのであります。

生來、精神の變つてゐる小兒には、矢張その身體の方にも異つた所の發見される場合が非常に多いと云

ふことは、多數の學者の調べに依て明にされた事實であります。それは次に擧げますやうな異常が悉く具はつてゐるわけではありませぬが、その中の二つ三つ或は多數の異常が發見されるのであります。

第一に先づ榮養發育が不充分で、貧血して顔色の惡いものが多い、それで言語歩行その他凡ての擧動の發達が不充分な場合には、その精神の發育も何うであらうかと云ふことに注意しなければなりません、それから年齢に比して法外に大きいとか或は反對に一寸法師であるとか、無暗に肥つてゐるとか、脊中や胸の邊に澤山毛が生えてゐるとか云ふやうなことが往々あります。

又頭の格好、或は頭と顔との釣合が惡いものがある即ち三角頭とか、烏帽子頭とか、巾著頭乃至木槌頭などゝ云はれるやうな目立つて普通の頭と格好の異つてゐるものが多いのであります。

それから口に於ては兎脣、更に進むで狼咽と云ふて口蓋の奥の方まで割れてゐるやうなものもあり、或は出齒、又は亂杭齒のものなどが多い。

尚ほ耳を調べて見ますと、耳と頭との間が大變離れて峙つてゐる耳があり、又これと反對に押つけられたやうな耳の附き方もあり、或は耳朶の無いものや大きく膨れたものもあります。其他鼻や口にも普通と變つた所があり、殊に眼に於きましては虹彩の一部が缺けて居るとか、孔があいて居るとか、又は斜視があるとか、或は眼球が時計の振子のやうに絶えず動くとか種々のことがある、手足の指が二本一緒に粘りついて四本しか無いとか、或は一本多くて六本有るとか隨分異つた所がある、尤も精神狀態に變つた所のある子供には、皆斯様な變な所があると云ふ譯ではありませぬけれども、兎に角斯様な異常の伴ふてゐる場合が頗る多いのであります、それで右の如き身體の異常は、これを變質徴候と申して居りますが、若し此の如き變質徴候が二つも三つもあるやうなときには、餘程注意してその子供の精神の發育を觀察する必要があります。

その精神の方面に於ては如何なる事が現はれて來るかと云ふことを極簡單に申上げますと、斯う云ふ子供は、別にこれぞと云ふ原因もなく、或は原因があるにしても極めて些細な事に由て甚しく鬱ぎこむだり、無暗にはしやいだりする傾があり、その鬱ぎ方悦び方が尋常でない、而してなか〳〵執つこく長く續く、それで笑つたり哭たりすることが度はづれて居る。少しの事で直ぐ赤くなつたり靑くなつたりする癖がある、或は普通の子供の喜ぶことを嫌ひ、反對に普通の子供の厭がることを悦ぶと云ふやうな癖がある。又犬や蟲などを捕へて殘酷なことをして樂むとか、或は反對に非常に可愛がらなければ氣が濟まぬと云ふやうな風がある。又物の領解が非常に鈍り、氣が散つて落著かないとか、考へることも變な事ばかり考へる、物忘れをするとか、穢いことを平氣でするとか、又は一寸手に墨がついても非常にそれを氣にして穢がるとか、凡て感情の調子が尋常でない、又何をするのにも懦弱で、ぐづ〳〵して向ふ所が定まらない。或は馬鹿喰いをするとか、人の厭がるやうな物を好むで食べるやうなことがある。又子供に似合はしからぬ色情の發達を示すとかいふことが屢々あります。

細かく云へばなか〳〵限りもありませぬが、感情、智力、意志の各方面に於て凡そ右に舉げたやうな傾向が年と共に現はれて來るものでありますから、最初に述べたやうな變質徵候があり、精神の方に於ても普通の子供と異つた傾向が見えるときには、徒らに奇童だとか、神童だなどゝ云ふて玩具扱ひにすることなく、却てこれは精神の低格なもの、又は變質者であつて將來親を泣かせ、世の迷惑となる類のものではないかと云ふことを考へて、充分愼重の敎育を施すことが極めて必要なことであります。

此外に親の黴毒とか結核とか酒、その他種々の事に由て遺傳的に身體に害を受け、又産れる時、その後の病氣の爲に精神の發育を妨げられて馬鹿になる所のものもありますが、今日は主として生來精神の足

りないもので、度が進めば所謂精神病者となるたちのもの即ち通常精神病學者が精神低格兒と稱するものゝ概略の狀態を申上げたのであります。

家庭衛生

素化粧法

化粧といふことは、美しい衣服を著るのと同じ心理から出て、女子には非常に大事なことゝ見える。それで皮膚の色の黑い者が白く見られるやうに、鼻の低いものが高く見えるやうに或は眼の小さいものが大きく見えるやうに、又は口の大きいものが小さく見えるやうに、有ゆる工夫を凝らして、理想とする所の美人の面相に近いものに化けようと努める、これが爲には如何なる不自然なことも敢て憚からないのである。但し我邦の婦人は首から下の姿勢とか、起立、歩行などゝ云ふことには餘り頓着しないやうである、化粧と云へば專ら顏面だけの細工である。薄化粧乃至濃化粧などゝ云ふ眞の化方は、藝妓娼妓又は俳優などと云ふ輩が苦心をして種々の秘術を盡して居るから、それはさう云ふ專門の徒に就て傳授を受けるのが最も適當である。私は只各人が天より授けられた或は父母より與へられた自然の顏貌、自然の色艶を損することなく、出來得るだけその美を完うする方法だけに就て、その要領を玆に述べる積りである、俗に素化粧と稱するのがこれである、或は艶化粧とも云ふ。

素化粧の本旨は、肌膚を細やかにし、滑らかにし、艶をよくし、皮膚自然の美を保つにある。これには皮脂、上皮、汗、塵埃の混合した所謂垢を去ることが第一に必要である。全く衞生的の身だしなみである。その上に用うる所の化粧品も殆ど色の無い、全く無害で、皮膚の爲に佳良の效あるものゝみを選用するのである。

皮膚の垢を除いて清潔にするのには、第一に湯と石鹸とを用ひて、よく洗ふ。性質の良い石鹸を用ふべきことは勿論である。水も石灰や鹽分の多い水は宜しくない。牛乳や卵の白味などを用ふるのも、その蛋白や脂肪と垢とが一緒になつて垢の乳劑を作る、それを洗ひ落すので清潔になるのである。米糠その他の植物性の洗粉も、殆どこれと同様の理由に依て垢を除く效能がある、殊に皮膚の弱いものは、石鹸よりもこの方が宜しい、併し石鹸ほどの效能はない石鹸も充分洗ひ落して、後に少しく脂肪を塗れば決して皮膚を荒すものではない。種々様々の洗粉が廣告されるけれども、性質の明かならざるものは用ひぬが一番安全である。

次に化粧品としては如何なるものを用ふるかと云へば、諸種の脂肪、「グリセリン」、硼酸、硼砂、滑石等である。但しこれも品質の良いものを選ばなければならぬ。

第一に脂肪であるが、これは肌膚を柔軟滑澤にし、乾燥を防ぎ、其他の刺戟を輕くし、黴菌等の侵入を防ぐ效のあるものであるが、脂肪と云ふ中にも動物性の脂肪と、植物性の脂肪と礦物性の脂肪とがある各々一得一失があつて、皮膚に對する前述の效能から云ふと動物性の脂肪が最も適當なものである、即ち乳脂、羊脂、豚脂の如きものであるが、これは各各一種の臭氣があり、又腐敗し易い點が缺點であるそれで動物性の脂肪は精製した者でなければならぬ。植物性の脂肪と云へば「オレーフ」油、蓖麻子油、椿油胡麻油の如きものであるが、これも臭氣があり、腐敗するを免れない、且つ髪に塗るには宜しいが面に塗るには不適當である。礦物性の脂肪といへば「ワゼリン」、「パラフィン」の類である。これは臭も無ければ腐敗もし難いが、髪に塗つては多少毛を惡くし、皮膚に塗つては動物性又は植物性脂肪の如くに潤がつかない。然し何れも用ふることが出來る、大袈裟な效能書と廣告とを以て賣廣められて居る化粧「クリーム」、化粧乳劑の如き者は、何れも此等の脂肪を原

料とし、多少の消毒藥のやうなものや、香料などを混せたもので、眞の有效成分と云ふのは、脂肪に過ぎないのである。

次には「グリセリン」であるが、是は化粧品の原料或は基礎としては前述の脂肪類よりも多く用ひられる特に顔に塗る液性の化粧品には大部分「グリセリン」と「アルコール」が這入つて居る。「グリセリン」は味は甘く粘氣があるが、色も臭もない、皮膚に塗つて擦込めば皮膚は暫時にして柔かになるのみならず。「グリセリン」は多少皮膚の色素を溶解し且つ幾分消毒の效もあるから、化粧用としては頗る有效なものである、但し「グリセリン」には品質の優劣種々の者があるから、化粧料には上等のものを選ばなければならぬ。

それから硼酸又は硼砂、これは化學的に消毒の效がある外に、矢張幾分か皮膚を軟にし艶を出す性質があるので「グリセリン」に溶かし或は單に湯に溶かして化粧用に用ひられる。

滑石粉は、これを撒布して輕く摩擦すれば皮膚を滑澤にし、汗や脂の分泌を制し、所謂白粉となる。

扨て化粧の方法は如何にするか、これは前に述べて置いた通り、不自然の化方をするのではないから、先づ以て顔面の皮膚の脂垢を除いて全く清潔な皮膚とすることが第一の要件である。即ち普通の方法としては湯と石鹼で充分顔面の垢を洗ひ落すのであるが、近來やゝ流行しかけて來た所謂美顔術のやり方は確かに有效である、其概略を述べると、中等大の「タオル」を釜で蒸すか或は熱湯に侵して固く絞つたもので、口と鼻だけを呼吸の出來るやうに殘して、顔面全體を包むで蒸す、この熱い「タオル」を二三回交換て數分間蒸す、さうすると顔はぽうと赤味をさして來る、そこで「クリーム」を澤山顔中に塗つて揉む、それから頰や頤の邊を種々の吸引器で吸ひ、尚ほ眼鼻、耳等の周圍を按摩し、更に「タオル」で前のやうに蒸し、又「クリーム」を塗つて輕く一體に按摩して、「ガーゼ」、紙。揉皮等を以て奇麗に「クリーム」を拭取り、滑石粉を基礎とした白粉をうち、仕上をする。これ

が亞米利加流の美顏術の要領であるが、確かに宜しい方法である、それで普通簡單に行ふ所の素化粧もなるべくこの要領を標準にするが宜しい、先づ面を洗つたならば乾いた手拭で輕く水を吸取り、皮膚の柔かに潤のある間に「グリセリン」、又は硼砂を臺にした化粧水を手の掌に滴し、指を以て一様に塗り、稍ゝ乾燥するまで手の掌又は揉皮を以て輕く摩擦し、それから滑石粉を臺にした白粉を打つて、柔かな紙で拭取る、これで以て顏は美しくなる。

但し元來肌膚の脂肪の多い人は、硼砂、硼酸、尚ほ少しく「アルコール」の混じつた化粧水を用ひ、荒れ性の人は「グリセリン」、又は「クリーム」の如きものを用ひその他各人の皮膚の特質に依り、又夏と冬と季候の相異に依つて適宜に斟酌すべきは勿論のことである。

鷄卵の貯藏法

鷄卵は元來他の食料品に比して貯藏に便利なものでありますが、それでも永く置けば矢張腐敗を免れません、古い卵と新鮮な卵を食べ較べますと、古い卵は古いほど味が惡い、うみたて卵のやうな快い味がなくなります。西洋では飲卵、煮卵と云ふて卵の新舊を分け、更に極新しい飲卵、新しい飲卵などゝ云ふて、新鮮の度を言表はして居りますが、確かな言表はし方ではありません。獨逸のキユールと云ふ人は、實用的に鷄卵の新舊を次の如く呼び別けることに致しました。

一、新鮮卵　　産後八日乃至十日まで

二、鷄卵　　四週間まで

三、煮卵　　凡て腐敗せざる鷄卵

鷄卵は一體あのやうな堅固な殼で包まれ居るのに何故腐敗するかと云ひますと、これは矢張黴菌の爲であります、墺太利のドクトルボイテルと云ふ人は、

近頃このことを調べまして、ある化學雜誌に發表致しましたが、それに依て見ますると、卵の內に大抵既に黴菌が居る、一體生み立ての溫い卵は、活潑に呼吸を營む生活體で、產卵の際に卵の殼と、その內を覆ふて居る膜との間に間隙が出來る、卽ち氣室で、通常卵子の鈍端の方に氣室がありまして、此處から外の空氣が通ひます。而して炭酸や水分を外に出すのみならず、腐くなりますと、卵黃と卵白との成分の間に段々に變化が起つて一緒になります、併し卵が著しい變化を起して腐敗するやうになりますのは、絲狀菌、腐敗菌等が侵入する爲であります空氣が濕氣多く、溫度の高い時に卵を產みますと、第一にその殼の上に絲狀菌と云ふものが著いて盛に繁殖致しますが、後に至りますと、これが卵の殼を通して內の方まで絲を伸します、さうすると、その後から腐敗菌が御供をして卵の內に入込み、こゝに腐敗を起すのであります。斯う云ふ譯でありますから、單に腐敗菌とは限りません、他の細菌類も侵入することが出來るのであります、ランゲと云ふ人が實驗して見た所に據りますと大腸菌、窒扶斯菌及び「パラ」窒扶斯菌等は確かに卵の殼を通して卵黃の內まで進むで行くと云ふことであります。

これに由て觀ますれば、卵の內に始から多少の黴菌は居るにしても、主な著しい腐敗現象は、外の方から腐敗菌が侵入して起すのでありますから、卵に變化の起らぬやうに、腐敗せぬやうに致しますのには、第一に絲狀菌にたかられぬやうに、腐敗菌が侵入することの出來ないやうに工夫すれば宜しい譯であります。それで若し大仕掛けに鷄卵を貯藏致しますのには、成るべく空氣の乾燥した而して黴菌を含まぬ冷藏庫の內に蓄へるのが一番良い方法であります。

然し冷藏庫などを應用することの出來ませぬ場合には、なるべく空氣の乾燥した室內に於て、瓦斯や濕氣を吸取つて腐敗を妨ぐ働きのある木炭或は泥炭の粉の中に蓄へて置けば一定の時期以上に卵を保存す

ることが出來ます、我邦では普通籾殼を用ひます、これは主として卵の殼を破らぬやうに蓄へると云ふだけの工夫に過ぎません、清潔な能く乾燥した籾殼でなければ却て絲狀菌のやうなものを繁殖させる虞があります。

右は成るべく空氣の乾燥と、冷氣とに依て貯藏所の黴菌を少なくし、その力を弱くするのでありますが、もう一つの方法は、假令黴菌などが空氣の中に幾ら居つても卵の內に侵入することが出來ないやうにして腐敗を防ぐ方法であります。これには適當な液體の中に卵を入れて置くので種々の液體を用ひますが、少し永い間入れて置きますと、その液體が卵の殼から浸徹つて內の方に變化を起すことがありますから、所謂水「ガラス」のやうな膠質のものを應用するのが最も良いのであります。

それから空氣の炭酸に由て分解が起りますが、これを防ぎますのには、卵の殼に脂肪を塗つて置けば餘程良い、貯藏しやうと思ふ卵は、先づ十分殼を清潔にして、その上に「ワゼリン」を塗つて置きますと、卵の內の空氣と殼との間に起る化學的作用から來る變化を一程度まで避けることが出來ます、のみならず外から黴菌の這入つて來るのも妨げますから、確に有效な貯藏法の一つであります。

序にお話致しますが、近頃米國では乾燥鷄卵、凍結鷄卵と云ふものを製造し出しまして、大分評判が好いやうで御座います。これは新鮮な鷄卵の殼を破りまして、白味と黃味とを別々に冷却裝置で氷らして粉にする、或は黃味も白味も一緒に混ぜてしまつて氷らす。或は乾燥させて粉にするのでありますが此の方法に依りますと少しも鷄卵の成分を損することもなく、全く生み立て鷄卵の代用になると云ふので、日常家庭の料理に用ひられ、又「パン」製造所、料理屋等でも使ひます、尙ほ殼に入つて居る生卵は携帶に不便であるが、この乾燥卵、又は凍結卵は携帶に便である所から、旅行の際、又は探檢家、軍隊等にも賞用され、その容積が少ない爲に病人に與へ

るにも宜しいと云ふことで、その製造所が出來て、廣く市場で販賣されるやうになつたと云ふことであります。



雜報

○未成年者飲酒禁止法案

未成年者飲酒禁止法案は例年の如く根本正氏より衆議院に提出せられたり、その結果この法律案は議長指名、九名の委員に附託せられたり、該案の内容は左の如し。

未成年者飲酒禁止法

第一條　未成年者酒類ヲ飲用シタルトキハ五十錢以下ノ科料ニ處ス

第二條　未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者其ノ飲酒ヲ制止セサルトキハ一圓以下ノ科料ヲ處ス

親權ヲ行フ者ニ代リテ未成年者ヲ監督スル者其ノ飲酒ヲ制止セサルトキ及未成年者ニ對シテ飲酒ヲ勸誘シタル者亦同シ

第三條　未成年者タルヲ知リテ酒類ヲ飲用セシメ又ハ其ノ自用ニ供スルコトヲ知リテ販賣若ハ給與シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○乳兒死亡豫防の新案

欧洲にては分娩減少、乳兒死亡の問題に關連して、その豫防法に腐心し、これが爲に設けられたる種々の會も少なからざるが中に、近頃又獨逸國フランクフルト、アム、マインに於て一の新しき會を加へたり、その會の名稱は。小兒記念牌製造頒布會といひその露骨なる名稱の示す如く、何處にても小兒の生れたる所には、本會より、又特志の婦人助力者に依てその「メダル」を親に贈りつけることなり、その口上に曰く『卿等はこの目出度き機會に際して、哺乳兒は往々正當の保護と健康の榮養とを缺けることを思ふて、進むでこれに備へられんことを』と。蓋しこの妙案は丁抹より傳來せるものにて、同國の郵便局長ホルボルといふ人は嘗て「クリスマス」切

手を以て結核豫防に貢獻して好評を博したるが、同氏は又當時小兒の「アムレット」、卽ち一種の守札を作り、特に盲兒の爲に便したり、この際政府はこれを補助し、且つ國立造幣局に於てこの「メダル」を鑄造せしめたり。丁抹に於ては産婆にこれを販賣せしめ、收益の二〇％は報償として補助資金に充つることゝせり。瑞典及び諾威も直ちにこれに贊同したるが、獨逸にて第一著にこれを採用したるは卽ちフラクフルト、アム、マイン市にして、今やこの小兒の守札は小兒記念牌の名稱にて行はれつゝあり。

○日本「トラホーム」豫防協會

河本、甲野、井上の諸博士首唱となり、多幸の懸案たりし日本「トラホーム」豫防協會設立のことに鞅掌中なるが、このたびその趣意書及び規則を發表したり。尙ほ同協會假事務所は當分神田區岩本町三十六番地ドクトル高村隆氏方に設けられたり。

我國に於ける「トラホーム」の害毒は、これを陸軍徴兵檢査表に照しても其一班を窺ふことを得べし。其數千人中少きは五十乃至百五十人、多きは四百五十人乃至五百二十人を示しつゝあり。

又た甚しきは全國に亙る奴婢、職工、特殊部落の民衆の如き百人中八十人乃至九十人の「トラホーム」を有するものあり、又國内學校生徒に於ても百人中三十人乃至五十人或は其れ以上の「トラホーム」病を有する所往々之ありといふ、就中「トラホーム」の爲め種々の續發病を惹起して視力の障碍を招きし者實に百人中十人乃至五十七人の多きを示し居れり。

「トラホーム」病者の數爾かく多數にして病毒の散蔓彌々擴大し民を傷ふこと寔に鮮少にあらず。此際「トラホーム」豫防協會の組織を見るは大に喜ぶべきことなり。

○亞米利加の結婚制度

亞米利加合衆國中の十一邦に於ては改善の見込なき犯罪者、癲質者及び白痴は豫め醫學的檢査を施して生殖能力を斷つの法律を設けたるが、二三の邦國に於ては更に一歩を進めて、總て生殖器病を有す

るものには結婚を禁ずるの法令を出したりと云ふ。然るに近時に至てウイスコンシンの立法部に於ては尙ほ一層嚴密なる法律手段を取れり、卽ちこれは醫師の證明に由て全然健康なることを證せられざるものには一切結婚を禁ずるの法なりとす、然し該法律は幾多の攻撃を受けたり。

○少年軍入隊式

少年に忠君愛國、義勇奉公の思想を鼓吹し、併せて健全なる體力を養成せん趣意にて、小柴博氏等の創立せる少年軍の入隊式は、去る十二月六日、午後一時より九段階行社にて行はれたり。

式は先づ君が代の合唱を以て始まり、次で井崎少將起ちて軍人勅諭を捧讀し、海城中學生長谷川俊雄氏入隊者の總代として宣誓をなし、終りに高島平三郎巖谷季雄、久留島武彥諸氏の講演ありて散會したり因に同軍隊員は、尋常四年以上の十七歲以下の男兒なり。毎月一回軍隊組織の行軍を施行し、見學、探勝、偉人の展墓參拜等を行ふ豫定なり。尙ほ當日の入隊式に列したる少年は百十八名なりしと云ふ。

廣告

○入會

○武富須美子紹介
●小石川區林町五十七　坂井鐵子

○俊野いわ子紹介
●愛媛縣溫泉郡小野村字北梅本　八木しずえ子

○岡田德子紹介
●麴町區飯田町三ノ二八　特別會員　天野たき子

○小喜多せき子紹介
●牛込區佐士原町一ノ一　特別會員　山田みすゞ子

○轉居

●小石川區音羽六ノ二四大川方　藤田千代子
●函館區地藏町六四　野田秀子
●府下大久保百人町仲通り七十五　藤木竹土子
●福島縣若松市大工町安田銀行內　古澤みれ子
●山口縣彥島郡三菱彥島造船所社宅　飯田和香子
●麴町區麴町八ノ二三　南宇ふみ子
●府下巣鴨村新田一〇四一　大澤きく子
●神田區三崎町三ノ一　春田隆子
●土佐國長岡郡三里村種崎　久竹代子

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮妃周子殿下
會長 侯爵夫人 鍋島榮子
副會長 男爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

幹事 鳩山春子
同 岡田德子
同 山木多穂子
同 松平芳子
評議員 石川貞子
同 濱田捨子
同 服部繁子
同 西外子
同 緒方悦子
同 小川孝子
同 片山龜子
同 丹波貞子
同 田村きよ子
同 男爵夫人 南部隈子
同 山口貞子
同 吉市幸子
同 岸澄子
同 三宅藤子
同 宮下咲子

同 羽田三緒子
同 高木鐐子
同 三浦敬子
同 岩下ゆか子
同 長谷川仲子
同 仁禮壽賀子
同 土肥多越子
同 岡山とし子
同 男爵夫人 加藤鈴子
同 吉武輝枝子
同 高橋孝子
同 鶴原誠子
同 中濱芳子
同 子爵夫人 松井正子
同 伯爵夫人 阿部篤子
同 菊池峯子
同 宮本樂子
同 守屋千代子

婦人衛生雜誌代價及廣告料

代價

一冊 定價金貳拾錢 郵稅壹錢
三冊（三ヶ月分） 前金郵稅共 金四拾五錢
十二冊（一ヶ年分） 前金郵稅共 金壹圓八拾錢

廣告料

一頁 六十二行 一行二十三字
壹頁 金五圓 半頁 金貳圓五拾錢
○特別廣告 壹頁金拾圓 半頁金五圓
○半頁以下行數ヲ以テ計算スルモノハ一行貳拾五錢

規定

一 ○本誌講讀申込ノ節ハ前金三ヶ月分以上本會事務所宛ニ送附セラルベシ但シ見本ハ郵券ニテ貳拾壹錢代用苦シカラズ○本誌休讀ノ節ハ速カニ報知セラルベシ通知ナキ分ハ講讀者ト見做ス但シ後金ニハ割引ナシ○轉居ノ節ハ新舊宿所通知セラレタシ

大正四年一月十七日印刷
大正四年一月二十日發行

編輯者兼發行者 東京市本郷區根津西須賀町九番地 莊司秋次郎
印刷者 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 田中增藏
印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地 杏林舍

發行所 東京市麴町區富士見町二丁目三十二番地 私立大日本婦人衛生會事務所

賣捌所
東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂
同市銀座四丁目 東海堂
同市京橋區鈴屋町 東京明堂
同市本郷區本富士町 明文館
同市同區春木町 南江堂支店
京都市寺町二條南入 若林茂一郎
東京市日本橋區吳服町 北隆館
同市神田區表神保町 東京堂
同市本郷區本富士町 盛春堂
名古屋市榮町六丁目 丸善書店

歯を美白になし口臭を去る
無毒無害の制臭殺菌漂白剤

オキシフル

オキシフルを其儘又は二倍量の水にてうすめたるものを歯楊枝に浸し歯を磨き又十倍量位に稀釋して嗽ひとなし常用すれば歯は不知不識の間に白く美しくなり口臭は除かれ口中は清潔を保ち且つ口中一切の疾患を豫防すべし



定價 小瓶 .56 大瓶 1.05

オキシフルを家庭に備へ置くときは創傷せるとき、毒蟲等に刺されしとき、化膿ある小腫物等の安全なる消毒薬として用立つべく又毛、絹、象牙、カーテン等を漂白し、果汁、葡萄酒等による布帛の汚點を去るに用ふるなどオキシフルは極めて有用重寶なるものなり。

オキシフルは絶對に無害にして強き殺菌制臭作用と漂白作用とを有し醫療上に工業上に廣汎なる用途を有する過酸化水素水（十容量）の本會社特許名稱なり詳細なる説明書あり進呈す

東京室町 三共株式會社

——振替貯金口座東京參貳五番——

婦人衛生雜誌第三百二號（大正四年）明治四十三年十二月一日（毎月一回）